

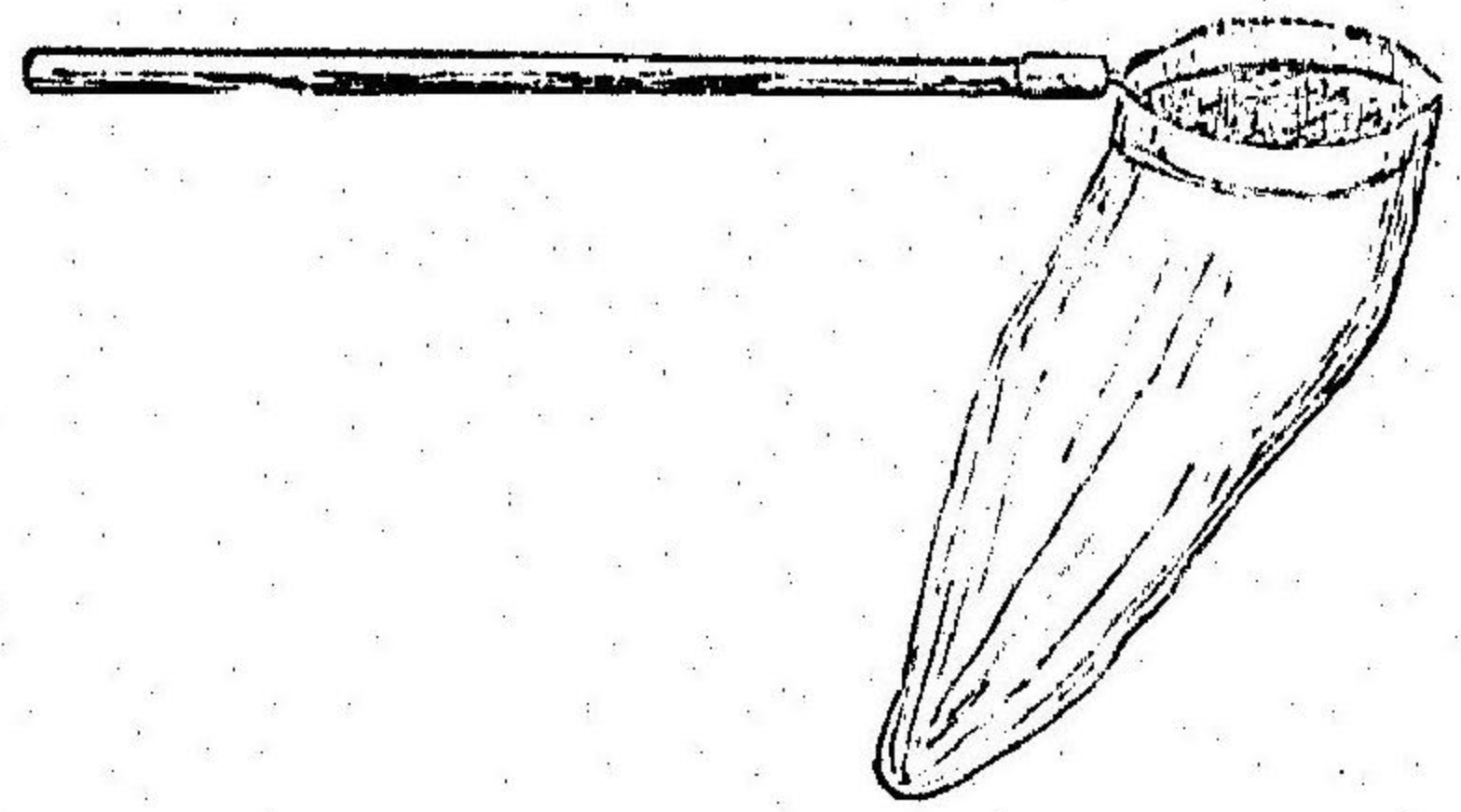
シ體軀ノ組織ヲ驗視セザル可カラズ昆蟲類モ亦吾人ノ如ク五官ヲ有スルモノナレバ之ヲ傷ヅクル時ハ其苦痛ヲ感ズルヤ必セリ故ニ之ヲ採集シ標本ヲ製作スルトキト雖モ尙ホ慈愛的の感念ヲ以テ無益ノ殺生ヲ避クルニ務ムルコト肝要ナリ採集セシ昆蟲ハ成ル可ク急ニ之ヲ殺スベシ然ルトキハ其苦痛ヲ感ズルコト尠ナシ半殺ニシテ之ヲ蟲針ニ刺シ置ク等ノ事ハ堅ク誠ムベキコトナリ

第一節 採集器具

昆蟲ヲ採集スルニハ種々ノ器具ヲ要スト雖モ初學者ノ用ユベキ器具ハ捕蟲網毒瓶硝子管及ビ紙製ノ小箱アルヲ以テ充分ナリトス然レハ蝶類ヲ採集スルニハ採集箱ノ必要アリ以下重要ナル採集器具ニ就キ陳ベントス

(一) 捕蟲網 捕蟲網ヲ製スルニハ先ツ鐵ノ針金若クハ竹片ヲ曲

第一百十一圖



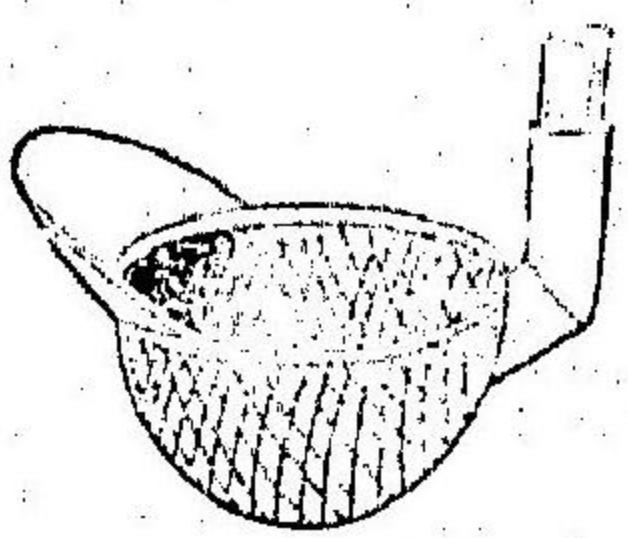
捕蟲網

ゲ直徑一尺許ノ輪ヲ作り之ヲ長サ四尺乃至五尺ノ木桿又ハ竹竿ヲ柄トナシ別ニ寒冷紗若シハ西洋蚊帳布ヲ以テ深サ三尺餘口徑一尺許ノ袋ヲ作り之ヲ右ノ針金若クハ竹片ノ輪ニ縫ヒ付クベシ其形掬網ノ如シ又其縫付ケタル口ノ周圍ニハ別ニ幅四寸許ノ木綿ヲ縁トナスベシ網ノ色ハ綠色ナルヲ良トス又水中ノ昆蟲ヲ捕フルニハ第一百十二圖ノ如ク金網ヲ以テ作りタルモノヲ使用スベシ

(二) 毒瓶 捕ヘタル昆蟲ヲバ「コロ、ホーム」「イサー」及ビ「ベンシン」等ノ藥劑ヲ海綿ニ濕シ之ヲ密封シタル箱若クハ瓶中ニ入レタル者ニテ殺スコトヲ得ルモ普通毒瓶ヲ用ヒテ殺スヲ以テ便利



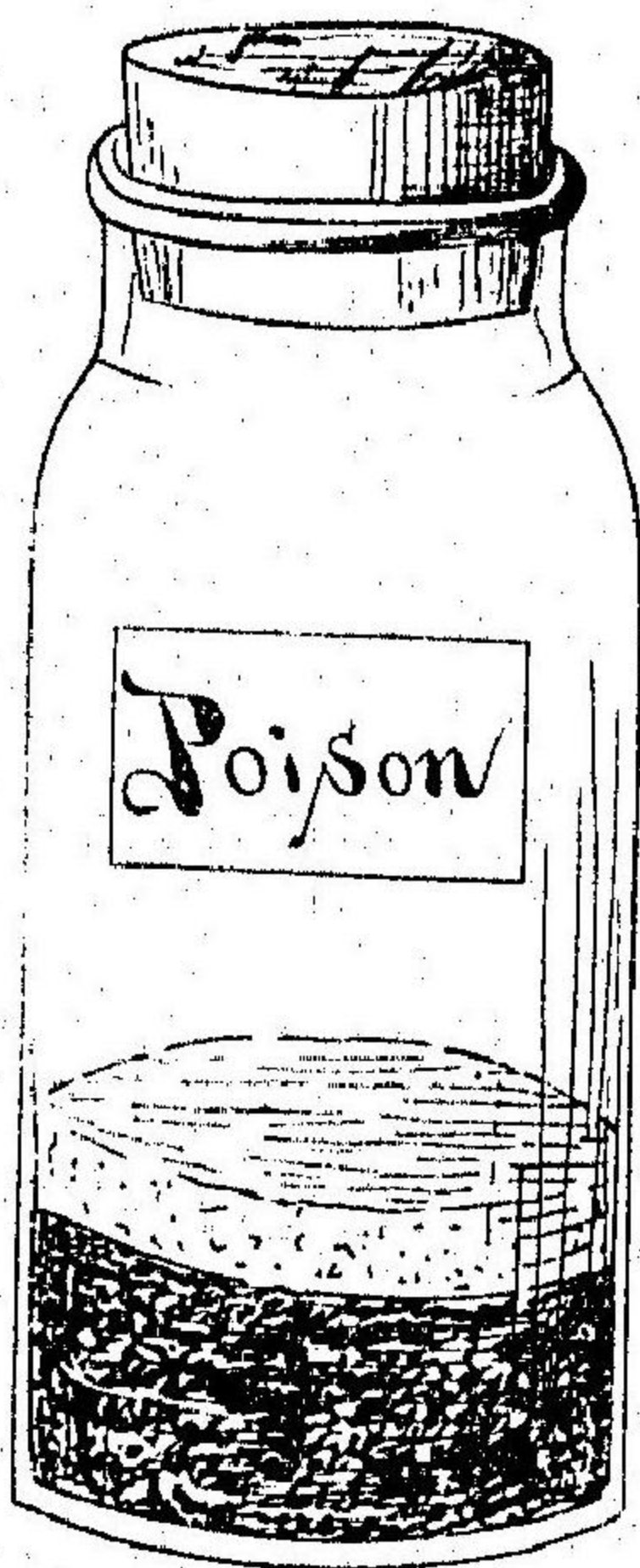
圖二十百第



水糖昆蟲採集器

ナリトス毒瓶ヲ製スルニハ先ヅ廣口ノ硝子瓶ニ「ユルク」栓ヲナシ其瓶底ニ青酸加里ノ小塊五六個ヲ入レ其上ニ石膏ノ粉末ヲ水ニ溶シタル者ヲ注ギ込ムベシ或ハ青酸加里ノ稍ヤ大ナル塊ヲ木綿ニテ包ミタル者ヲ

第百十三圖 毒瓶



瓶底ニ入レ更ニ數多ノ小孔ヲ穿チタル厚紙ヲ置キ口ヲバ嚴ク「ユルク」栓ニテ密閉スベシ然ルトキハ青酸化里ヨ

リ發散スル毒氣瓶中ニ充滿シテ能ク其目的ヲ達スルコトヲ得ベシ毒瓶ヲ使用スルニハ左ノ注意ヲ要ス

(イ) 青酸加里ハ空氣中ヨリ水分ヲ吸收スルヲ以テ「スイトリ」紙ヲ小片ニ切り之ヲ瓶中ニ入レ置クベシ時々此「スイトリ」紙ヲ

バ換フルヲヨシトス

(ロ) 毒瓶ノ口ヲ開放シ置クベカラズ

(ハ) 毒瓶ニ顔ヲ接シテ其口ヲ開クベカラズ

(ニ) 瓶中ニ入レタル昆蟲ヲバ三十分乃至四十分以上經タル後

ニアラザレバ之ヲ取り出スベカラズ蘇生ノ恐レアレバナリ

(ホ) 午後ニ採集シタル昆蟲ヲバ翌日ノ午前マデ其儘瓶中ニ入

レ置クモ差支ヘナシ

(ヘ) 野外採集ニ行クトキハ毒瓶ヲ毛布或ハ革袋ニ入レ紐ニテ

之ヲ肩ニ掛クルヲ便トス

(ト) 蝶類ノ如ク翅粉ノ脱落シ易キモノハ毒瓶ニテ殺スヨリハ

寧ロ「ユロ、ホーム」ニテ殺シ蟲針ニテ胸部ヲ刺貫シ採集函ニ

容レ置クベシ

(チ) 大ナル毒瓶ノ外別ニ小ナル毒瓶ヲ携帯スルヲ便利ナリト

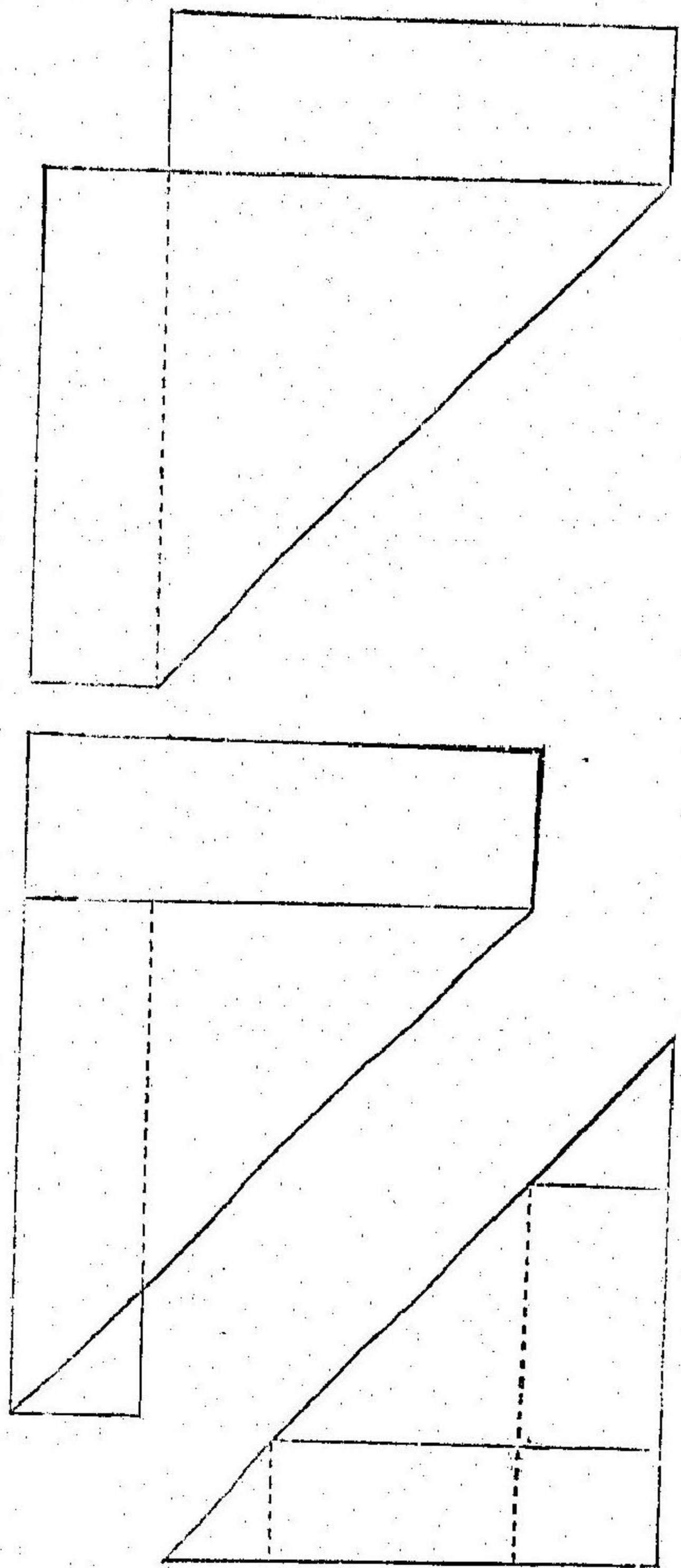


ス

第百十四圖 小形ノ毒瓶



第百十五圖 蝨入袋



(三)採集函、採集函ハ桐ノ如キ輕キ材木ニテ造リタル凡ソ幅六寸長サ一尺五寸深サ一寸五分ノ同寸法ナル二個ノ函ヲ作り印籠蓋トシテ身函ニ適合セシメ其一側ニ蝶絞ヲ附ケ開閉ヲ便ニシ反對ノ側ニハ眞鍮製ノ

六四

鉤ニテ之ヲ留メ又幅廣ノ眞田紐若クハ革紐ヲ身函ノ側面ニ着ケ肩ニ掛クル様ニスベシ

(四)蝨入袋、蝶蛾類ヲ捕ヘテ持チ歸ル爲メニ新聞紙若クハ普通ノ厚洋紙ニテ第百十五圖ノ如キ三角形ノ袋ヲ拵ヘ死シタル蝶蛾類ノ胸部ノ腹面ヲ摺ミ四翅ヲ背上縦ニ重テ合セ之ヲ其袋内ニ入レ上ニ採集地名及ビ月日ヲ記シ採集函若クハ「ブリツキ」函ニ入レ持チ歸リ後チ之ヲ蟲針ニ刺シ展翅スベシ若シ標本ノ乾キタルトキハ濕リタル砂ヲ入レ金盞ノ内ニ收メ其體軀ノ柔軟ニ成リタルヲ俟チテ之ヲ製作スベシ

(五)採集用硝子瓶、甲蟲類ヲ生キタル儘マ持チ歸ルニハ採集用硝子瓶ヲ用ユベシ瓶ノ大サハ一



様ナラバト雖モ大ナルハ徑一寸二分長サ三寸許アリ小サキハ徑



二分五厘位ナリ甲蟲ヲ之ニ入ル、ニ際シ數頭ヲ一瓶中ニ投入スルトキハ互ニ嚙ミ合ヒテ觸角或ハ翅肢ヲ損傷スル恐レアレバ蟲體ニ適合スル瓶ヲ撰ミ之ニ入ルベシ或ハ蟲ト蟲トノ間ニ綿若クハ紙塊ヲ挾ミ置カル可シ

(六) 仔蟲筒 仔蟲ヲ採集シ生キタル儘マ持チ歸ルニハ仔蟲筒ヲ要ス通常亞鉛板ニテ筒狀或ハ長方形ノ箱ヲ作り無類ノ小孔ヲ穿チテ空氣ノ流通ヲ計リ内ニ仔蟲ヲ入レ同時ニ食草ヲ入レ置クナリ最モ簡便ナルハ小間物若クハ製藥ノ空函ヲ保存シ置キ之ヲ使用スルニアリ

### 第二節 採集時期採集地及ビ採集法

昆蟲採集法ニ就テハ何レノ昆蟲書ニモ多ク記シアレバ本節ニハ其要點ヲ概説シ他ハ各自ノ實驗ニ一任セントス要スルニ昆蟲採集ノコトハ到底筆紙ノ能ク盡スベキモノニアラズ實驗ヲ

積ミ初メテ之ヲ知得スルモノナリ昆蟲採集ハ無數ノ標本ヲ得ルヲ目的トスルニアラズシテ要ハ昆蟲類ノ棲息スル眞狀ヲ觀察シ之ヲ驚カシメバシテ自然ノ習性舉動ヲ學ブニアリ昆蟲ヲ採集スルニハ四季共ニ何レノ場所何レノ時ヲ問ハス常ニ能ク之ヲ捕獲シ得ベシト雖モ冬季ハ他ノ三期ニ比シ其數稍ヤ少ナシ最上ノ採集時期ハ夏季午前八時頃ヨリ午後二時頃迄及ビ黄昏ナリトス晴天朝露未ダ全ク乾カザル時ニ於テハ昆蟲類ノ運動不活潑ナレバ其際之ヲ捕フルコト容易ナリ

(一) 採集時期及ビ採集地ノ大要ハ左ノ如シ

- (イ) 地錢類ハ多ク濕地若クハ朽木落葉ノ下及ビ苔蘚類ノ中ニ棲息スルヲ以テ冬期尙ホ之ヲ採集シ得ベシ
- (ロ) 蝶類ハ早春ヨリ晚秋ニ至ル迄原野庭園等花多キ處及ビ森林ノ樹液流出スル所ニ多ク飛翔スルモノナレバ是レ等ノ邊



ヲ涉獵スベシ

- (ハ) 蛾類ハ多ク黄昏ヨリ夜間飛翔スルモノナレバ夜間田圃或ハ山野ニ於テ燈火ヲ以テ之ヲ誘ヒ捕フルコトヲ得ベシ然レド蒼鬱タル綠樹草間ニ於テハ晝間尙ホ之ヲ搜索スレバ多クノ種類ヲ捕獲シ得ベシ百合花及ビ他ノ圓筒形花ノ開クトキハ黄昏多クノ天蛾飛ビ來リテ花蜜ヲ吸收スルヲ以テ其際之ヲ捕獲スルコト容易ナリ又砂糖水或ハ砂糖ヲ酒(ビール)ニ溶キタルモノヲ樹幹ニ塗リ置クトキハ各種ノ蛾類其香ヲ嗅キ來リ集ルナリ時々其所ヲ檢視シテ之ヲ捕フベシ
- (ニ) 石下朽木ノ下及ビ菌類ノ腐敗シタル處ニハ多クノ蟲類殊ニ甲蟲及ビ彈尾類集リ居ルモノナリ
- (ホ) 水中ニハ幾多ノ蟲類棲息ス
- (ヘ) 稻屋ノ軒椽或ハ壁上ニハ種々ノ鱗翅類ノ繭附着スルコトアリ

アリ  
 (チ) 牆籬間ヲ注意シテ觀察スルトキハ種々ノ昆蟲ヲ見出スコトアリ

(二) 採集法、昆蟲ヲ採集スル法ハ其採集セントスル種類ノ異ナルニ從ヒ同一ナラズト雖モ捕蟲網ヲ用井ザレバ捕獲シ得ザルモノト手ヲ以テ直ニ之ヲ捕ヘ得ベキモノトアリ左ニ採集ノ際注意スベキ要點ヲ擧ゲン

- (イ) 昆蟲ハ靜止シテ自ラ捕ヘラル、ヲ俟ツモノニアラザレバ花上若クハ葉面ニ靜止スルモノヲ捕獲セントスルトキハ成ルベク迅速ニ捕蟲網ヲ以テ之ヲ掬ヒ昆蟲ヲシテ脱走ノ間ナカラシムベシ
- (ロ) 或一種類若クハ一頭ノ昆蟲ヲ捕フルヲ以テ目的トセズシテ幾多ノ少サキ種類ヲ採集セントスル時ハ目ノ細キ網ヲ以



テ草上或ハ叢樹ノ葉面ヲ左右ニ振りナガラ緩歩スルコト數分時間ニシテ之ヲ止ムルト同時ニ網ヲ強ク振ルコト二三回ニ及ブベシ然ルトキハ網中ノ昆蟲ハ皆ナ草木ノ實葉等ト共ニ網底ニ集マル此ノ時網中ニ入レル大ナル枝葉ヲ取り去リ網ノ末端ヲ大口ノ毒瓶ニ入レ蓋ヲ施スベシ一二分間ノ後チ之ヲ出ストキハ網中ノ昆蟲ハ毒劑ノ爲メ一時窒息サレ動クコト能ハザレバ之ヲ「ビンセツト」ニテ用意ノ毒瓶ニ入ルベシ

(ハ) 早朝樹下ニ立チテ枝葉ヲ急劇ニ動搖スルトキハ夥多ノ甲蟲ハ驚キテ顛落スベシ此ノ時地上ニ風呂敷籠若クハ蝙蝠傘ヲ倒ニナシテ擴ゲ置クトキハ其中ニ落入ルナリ

(ニ) 四ツ手網ヲ樹枝ノ下ニ置キ「ステツキ」ヲ以テ枝葉ヲ敲クトキハ多クノ昆蟲類驚キテ之ニ顛落スベシ

(ホ) 水中ニ棲息スル昆蟲ヲ採集センニハ稍ヤ小形ナル細キ目

ノ麻布ニテ製シタル網ヲ用ユルカ或ハ金網ヲ張りタル網ヲ以テ水底ヲ靜ニ掬フベシ

(ヘ) 蜂蟻ノ類ハ毒針ヲ有スルヲ以テ之ヲ捕フルトキニハ注意シテ成ルベク「ビンセツト」ヲ用ユルカ或ハ毒瓶ト「コルク」ニテ之ヲ捕フベシ蜂類ハ好シク草花ニ飛ビ來リ花蜜或ハ花粉ヲ集ムルモノナレバ是レ等ヲ採集スルニハ原野花莽ノ多キ處若クハ庭園ニ於テスベシ蟻ハ糖類ヲ好ミ能ク蚜蟲ノ分泌スル甘液ヲ舐ル故ニ蚜蟲ノ棲息スル所ニハ必ズ蟻ヲ視ルナリ

(ト) 蝶蛾ノ類ヲ捕蟲網ニテ捕フベシ

(チ) 蠅類ハ山野田圃室内ノ別ナク多ク發生スルモノナレバ何レノ所ニテモ之ヲ採集シ得ベシ採集スルニハ網ヲ用ユベシ

(リ) 甲蟲類ハ其種類ノ異ナルニ從ヒ棲息スル所ヲ異ニスレバ之ヲ採集スルノ法モ亦同一ナラズ**げんごろうがむし**ノ類ハ



水棲ナレバ水中川網ニテ捕獲スベクまい／＼かぶり、ごもくむしノ類ハ主ニ塵芥、朽木ノ下ニ隠レ夜間出ルモノナレバ捕蟲網ヲ用ヒズシテ之ヲ採集スル事ヲ得ベシ鳥獸ノ屍骸若クハ果物ノ腐敗シタルモノニハ志でむしノ生活スルコトアリくわがたむし、さいかちむし等ハ樹液ヲ吸收ス幾多ノこがねむし類ハ草木ノ葉ヲ食ヒ天牛、瓢蟲等ハ皆植物ノ枝葉ノ間ヲ徘徊スレバ捕蟲網ヲ用ヒズシテ容易ニ之ヲ採集スルコトヲ得ベシ

(又)動物ノ肉片植物ノ腐敗部ヲ森林路傍若クハ野外ニ捨テ置キ日毎ニ之ヲ檢視スルトキハ其下ニ種々ノ昆蟲殊ニ多クノ甲蟲類ノ集合スルコトアリ其時之ヲ採集スベシ

(ル)直翅類ハ多ク原野叢間ニ棲息スルヲ以テ之ヲ追立テ手ニテ捕獲スルヲ便利トスとのさまばつたノ類ハ能ク飛ブモノ

ナレバ捕蟲網ヲ要ス蟋蟀、蛄、蠖ノ如キハ朽木、瓦礫等ノ下ヲ搜索スベシ

(オ)蜻蛉ノ類ハ池沼ノ水上或ハ河流ノ邊ヲ多ク飛翔スルモノナレバ捕蟲網ヲ以テ之ヲ捕獲スベシ其他ノ脈翅類及ビ擬脈翅類ハ皆飛翔スルヲ以テ之ヲ捕獲スルニハ捕蟲網ヲ要スト雖モ偶々夜間燈火ヲ慕ヒ來ルコトアリ

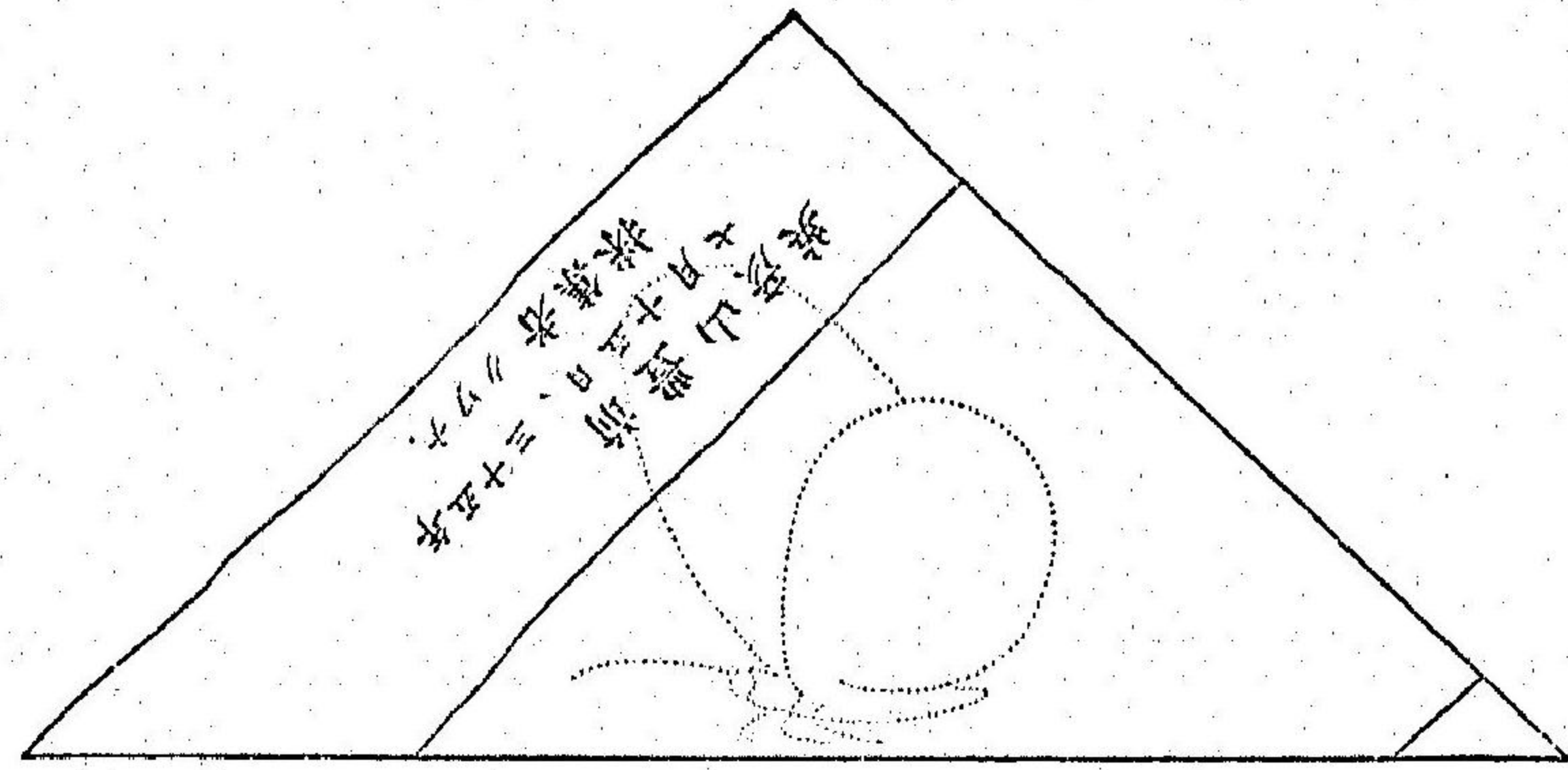
(ワ)半翅類ハ主ニ植物ニ寄生シ其養液ヲ吸收スルモノナレバ果園、田圃、略傍、山林、原野等草木ノ種類ニ富メル處ニテ多ク之ヲ採集シ得ベシ蟬ハ比較的高キ所ニ棲息スルヲ以テ柄ノ長キ捕蟲網ヲ以テ鳴聲ヲ尋テ徐々歩ヲ進メ行キ之ヲ捕フベシ

(カ)蝶、蛾、蜻蛉等ノ類ヲ殺スニハ蓆酸ノ溶液ヲ針頭ニ着ケ之ヲ蟲ノ胸部ニ刺シ殺スベシ

(ヨ)採集セシ標本ニハ必ず採集地名、採集月日及ビ採集者ノ姓



第一百十七圖



蟲入袋ニ蝶ヲ入レタル狀

名ヲ記シ置カルベシ

第三節 標本製作器具及ビ

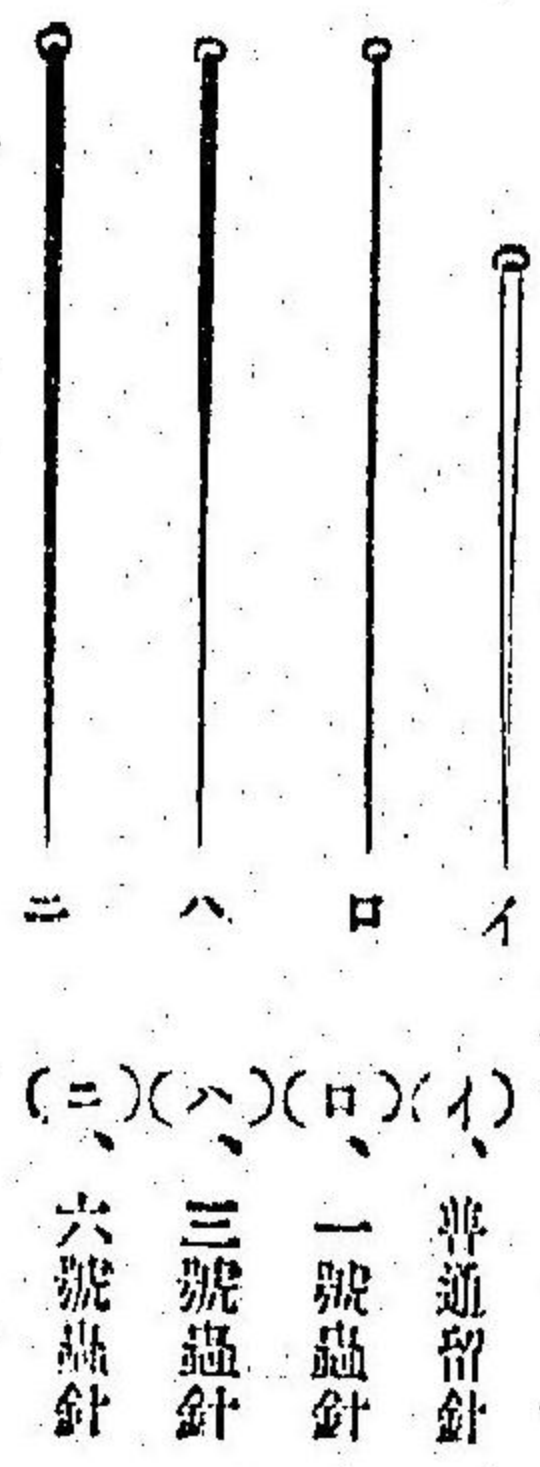
藥品

(甲) 昆蟲標本ヲ保存スルニ二法アリ一ハ標本ヲ液體ニ浸シ置クコト一ハ標本ヲ蟲針ニ刺貫シ乾カシテ保存スルコトナリコノ二法ノ内何レノ法ヲ撰ブベキヤハ他日其標本ノ使用法ニヨリテ相異ナラザル可カラズト雖モ普通ノ場合ニ於テ昆蟲ノ成蟲ヲバ悉ク蟲針ニ刺貫シテ之ヲ乾カシ保存スルヲ良トス昆蟲標本ヲ製作スルニハ種種ノ器具ヲ要ス左ニ其一斑ヲ説及ス

ベシ

(一) 蟲針 蟲針ハ之ヲ刺蟲針或ハ昆蟲針ト呼ビ通常ノ木綿針ヨリハ細長クシテ其大サニハ種々アリ英國製ノ蟲針ハ短カキヲ以テ刺貫シタル標本ヲ保存函ノ底ニテ損害スル憂ヒアレバ本邦ニテハ廣ク之ヲ用ユルヲナシ獨逸製ノ蟲針ハ英國製ニ比シ

第一百十八圖 蟲針各種



稍ヤ長キヲ以テ前述ノ如キ憂ヒアルヲナシ右兩者ノ内何レノ針ヲ使用スルカハ各自ノ自由撰定トスベキモ要スルニ蟲針ハ凡テ一定ノ長サノ者ヲ

用非ザル可カラズ若シ標本ノ半ニ英國製ノ短カキ針ヲ用ヒ他ノ半ニ獨逸製ノ長キ針ヲ用ヒタランニハ保存函ニ排列セシトキ一方ハ標本函ノ底ニ接近シ他方ハ高ク函ノ底ヨリ離レ其體裁見苦シキノミナラズ標本ノ價值ヲ損スルコト又尠カラズ故



ニ標本ヲ製作スルニ當リ先ヅ撰定スベキハ蟲針ナリ  
獨逸製ノ蟲針ナリト雖モ其製造所ノ異ナルニ從ヒ其長短ニ多  
少ノ差アリサレド其長サハ大約一寸二分五厘位ナリ其太サハ  
番號ニヨリテ之ヲ〇〇號、〇號、一號、二號、三號、四號、五號、六號、七號、  
八號、九號及ビ十號ノ十二種ニ分テリ〇〇號ハ最モ小針ニシテ  
十號ハ最モ大針ナリ就中普通多ク使用スルハ三號針ヲ以テ適  
當ナリトスサレド大ナル甲蟲及ビ蟬ノ類ニハ六號針ヲ用ヒザ  
ル可ラズ又最モ小サキ昆蟲類ニハ一號針ヲ用ユルヲ良トス要  
スルニ若シ單ニ一種類ノ蟲針ヲ購求セントスル場合ニハ三號  
針ヲ撰ブベシ

(二) 留針、留針ハ昆蟲標本各部ヲ整理スルトキニ用ユル針ニシ  
テ蟲針ヨリハ稍ヤ短カクシテ大ナリ通常二百五十本ヲ以テ一  
包トス本邦ニテハ蟲針ノ代リニ之ヲ使用スルニト甚ダ多キガ

如シ是レ留針ハ蟲針ヨリ頗ル低價ナレバナリサレド留針ハ體  
ノ肥大ナル昆蟲ヲ刺貫スルニハ短カク且ツ蟲針ヨリハ錆ビ易  
キガ如シ

(三) 「ピンセット」、小サキ昆蟲類若クハ有毒蟲及ビ毒藥ヲ取扱フ  
ニハ「ピンセット」ヲ用ヒザル可カラズ此器ハ金屬製ヲ以テ常ト  
ス其形ニハ大小アリ稀ニハ竹製ノモノヲ視ルコトアリト雖モ  
實用上稍ヤ不適當ナルガ如シ

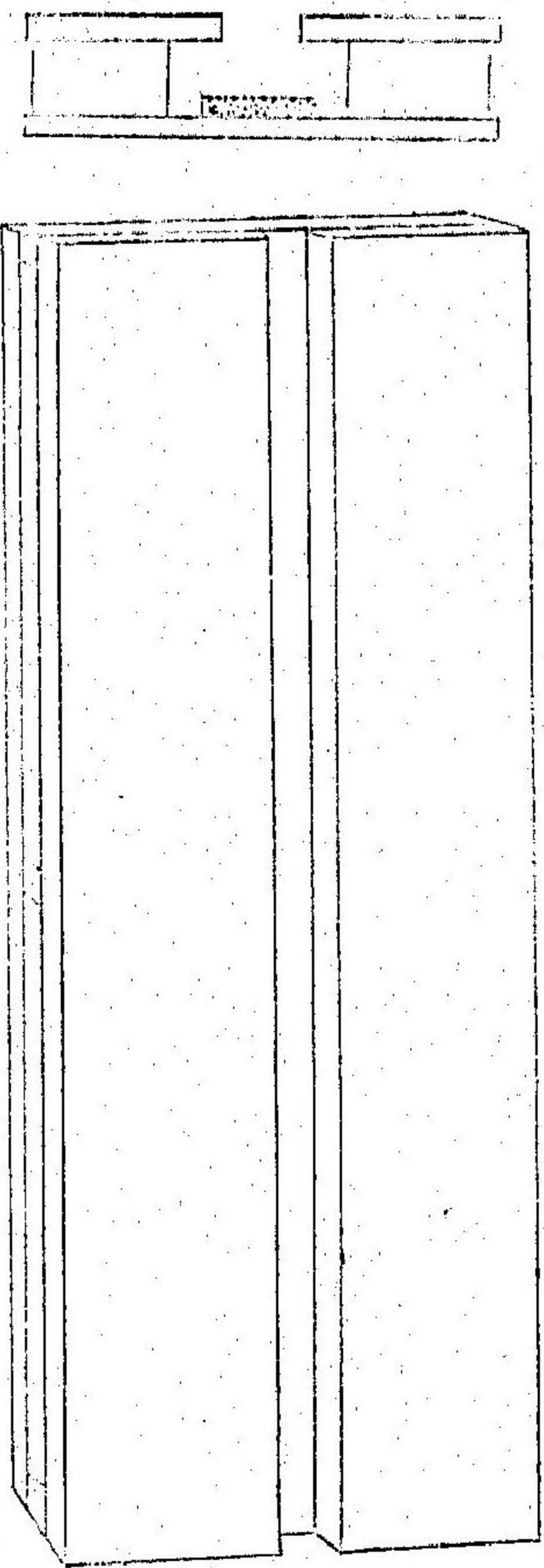
別ニ齒科醫ノ齒齒ヲ撤去スルニ用ユル如キ大形ノ「ピンセット」  
ヲ備ヘ置クトキハ標本整理上甚ダ便利ナリ

(四) 展翅板、展翅板ハ蝶類及ビ他ノ昆蟲ノ翅ヲ伸展スルトキニ  
用ユル器具ニシテ其構造ニハ種々アリト雖モ茲ニハ最近ノ發  
明ニ係ル稍ヤ進歩シタルモノヲ記セントス

先ヅ桐若クハ杉ノ厚サ二分長サ一尺二寸幅二寸四分ノ長方形



第一百十九圖 展翅板



ノ板ヲ造リ其上ニ三箇所横ニ小板幅八分長サ二寸四分厚サ三分ヲ附シ其上ニ二枚

ノ板ヲ縦ニ(幅一寸長サ一尺二寸)附スルトキハ中間ニ四分ノ溝ヲ生ズベシ此溝ハ蟲體ヲ容ル、所ニシテ其左右ノ板ハ翅ヲ伸張スル板面ナリ別ニ溝ノ下底ニハ「コルク」板ヲ細長ク切りタルモノヲ敷クベシ翅ヲ伸張スル板面及ビ溝ノ狭厚ハ展翅セントスル昆蟲ノ體及ビ翅ノ大小ニヨリテ同一ナラズ小翅ノ蝶ニハ狭キヲ用ヒ大翅ノモノニハ大ナル展翅板ヲ用フベシ

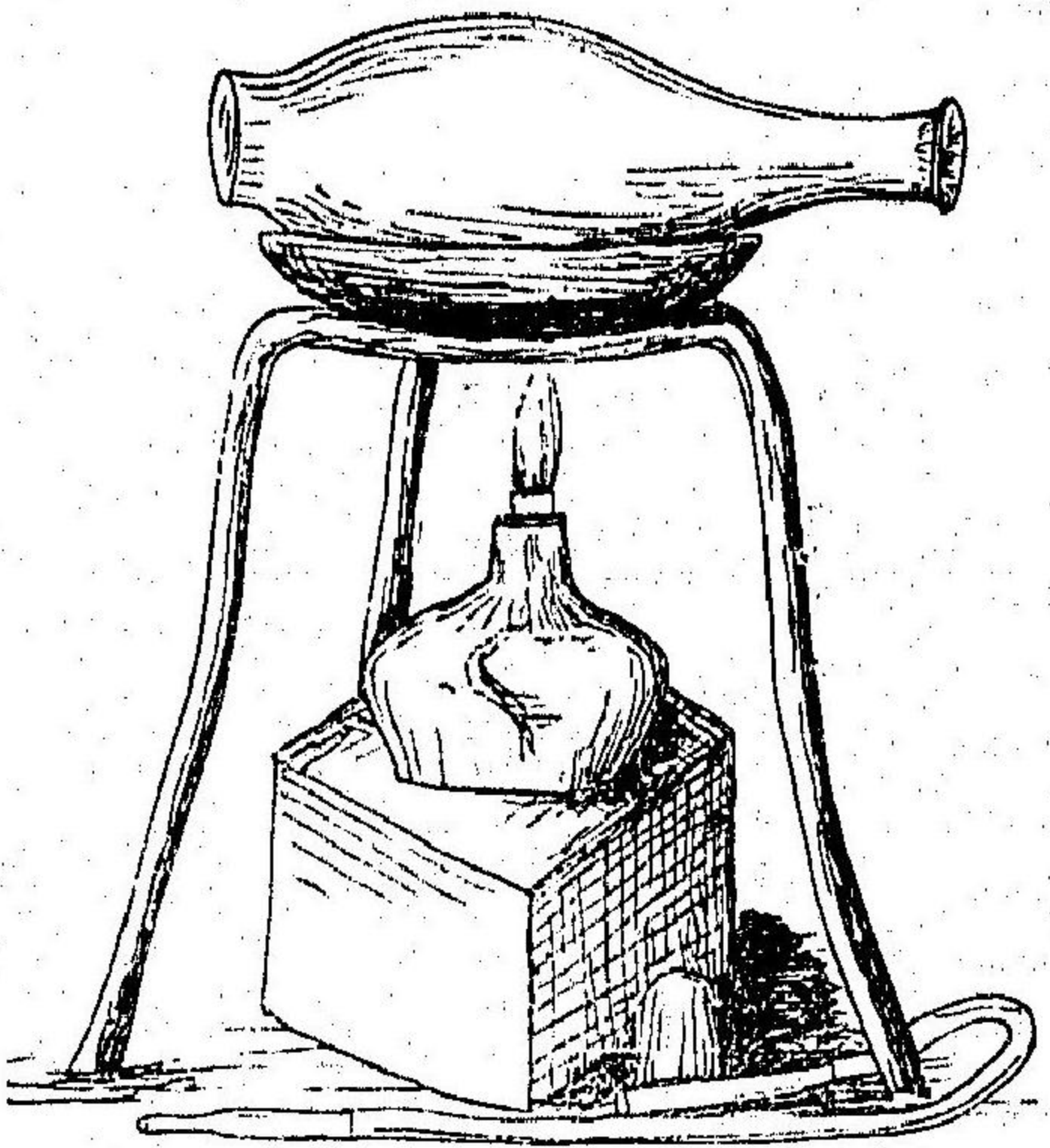
(五) 展翅針、展翅針ハ一寸五分位ノ尖銳ナル針ニ三寸餘ノ木柄ヲ附ケタル者ニシテ昆蟲ノ翅ヲ縮疊セルモノヲ展翅板上ニ於テ其尖端ニテ整理スルニ用ユ



第百二十圖 展翅針 簡易ニ之ヲ製セントスルニハ

通常ノ木綿針ヲ杉箸ノ一端ニ差シ込ムベシ

第百二十一圖



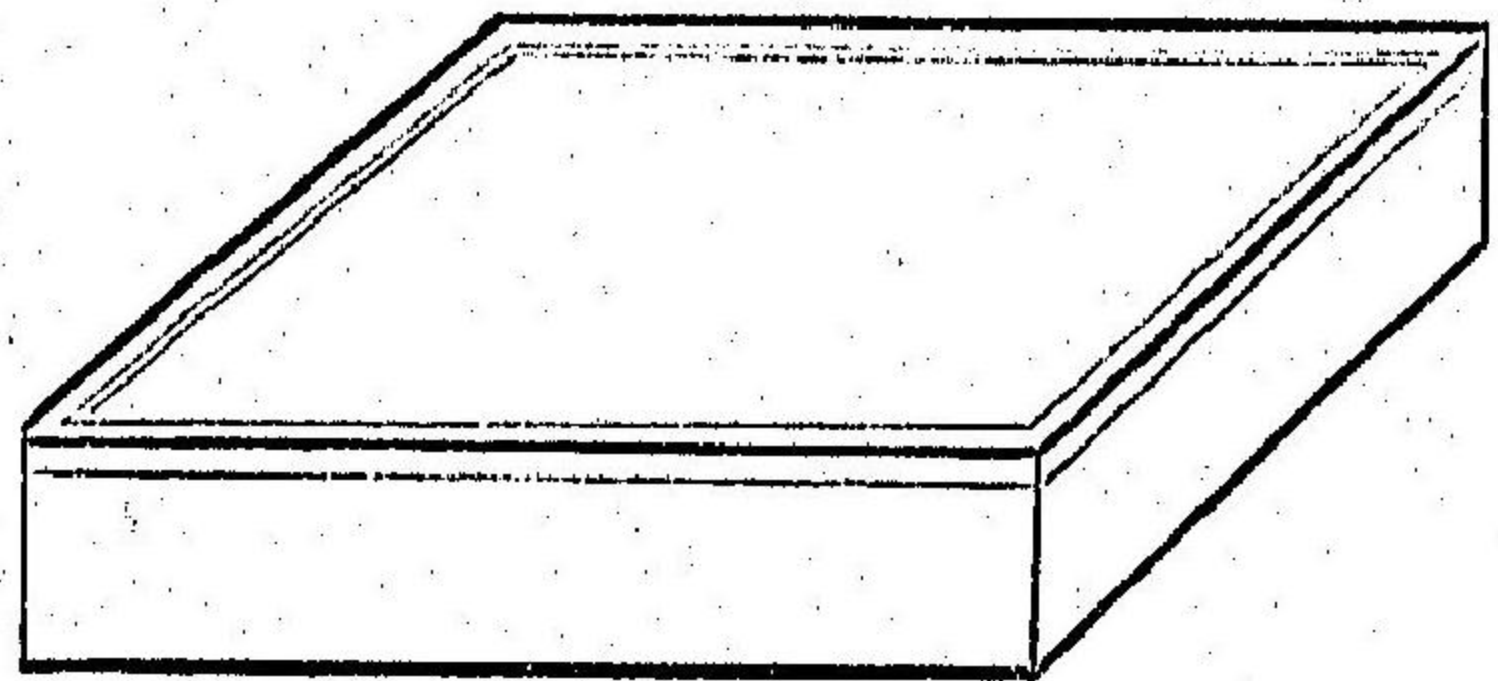
仔蟲吹脹器

(六) 仔蟲吹脹器、簡單ナル吹脹器ハ第百二十一圖ノ如ク鐵製三脚臺ニ砂ヲ盛リタル金屬製ノ皿ヲ置キ其上ニ洋燈ノ「ホヤ」ヲ横ニ置キ其小ナル口ヲ木綿ニテ閉ヂタル者ナリ別ニ酒精燈ヲ三脚臺ノ下ニ置キ砂中ニアル「ホヤ」ヲ熱スルノ用ニ供ス



別ニ尺餘ノ護謨管ノ兩端ニ玻璃管ノサシタル吹管ヲ附屬ス護謨管ノ一端ニアル玻璃管ノ末端ハ次第ニ之ヲ小サクスベシ吹

服法ハ次節ニ於テ之ヲ説明スベシ  
(七)貯藏箱、或ハ之ヲ保存函若クハ標本箱トモ云フ製作シタル標本ヲ保存スルノ函ナリ其種類極メテ多ク大小及ビ形狀同一



圖二百二十二

貯藏箱

ナラズト雖モ九州昆蟲學研究所ノ貯藏函ハ深サ一寸五分乃至二寸幅一尺三寸長サ一尺五寸ニシテ蓋ニハ硝子板ヲ箆メ底ニハ白紙ヲ以テ覆ヒタル「コルク」板ヲ粘リタル桐製ノ箱ナリ(疊表三四枚ヲ重キタルモノヲ箱ノ底ニ敷クトキハ低價ナリト雖モ疊表ハ蟲針ヲ腐蝕スルノ恐レアルヲ以テ永ク之ヲ保存スルコト能ハズ)別ニ戸棚ヲ造リ標本函ヲバ之

ニ納メ置キ成ルベク日光ニ曝サザル様注意スベシ

(八)硝子<sup>蓋</sup>「スライト」及ビ硝子<sup>蓋</sup>「カバガラス」、「ブレバシート」ヲ製スルニ必要ノ

品ハ臺硝子覆硝子はナリ臺硝子ハ通常幅九分長サ二寸五分ノ薄キ硝子板ナリ覆硝子ニハ圓形ナルト角形ナルトアリ其太サモ又一様ナラズ

(乙)昆蟲標本製作及ビ保存ニ用ユル藥劑ハ其種類夥多ナリト雖モ左ニ其主要ナルモノヲ記シテ以テ讀者ノ參考ニ供セントス

(一)青酸加里、毒瓶ヲ製スルニ用ユルモノニシテ白色ノ板狀塊ヲナス其性揮發ニ富ム又空氣中ノ水分ヲ吸收スルノ性アリ

(二)蓆酸、蝶及ビ蜻蛉ヲ殺ストキ若クハ毒瓶ニテ殺シタル昆蟲ノ蘇生ヲ恐ル、トキハ針若クハ「ベシ」ノ先ニテ此ノ溶液ヲ胸部ニ注入スベシ

(三)カナダバルサム、「ブレバシート」ヲ製スルニ用ユル保存劑ナ



レドモ間々微小ナル昆蟲類ヲ厚紙ニ粘付スルニ用ユ  
 (四)「グリセリン」、種々ノ方面ニ於テ之ヲ使用ス蜘蛛及ビ他ノ柔軟ナル昆蟲ヲ「アルコール」液(八十パーセント)ニ保存スルニ當リ「グリセリン」ヲ少シク混和スルトキハ其褪色ヲ防グモノナリ  
 (五)「グリセリンゼリ」、「プレバライト」ヲ作ルトキニ用フル簡便ノモノナリ其製法ハ晒膠凡ソ八「グラム」ヲ凡ソ四十五立方「センチ」ノ湯ニテ溶解シ之ニ「グリセリン」凡ソ四十立方「センチ」ヲ混和シ攪亂ス然ル後チ防腐劑トシテ之ニ數滴ノ石炭酸ヲ加フベシ其未ダ冷固セザルニ當リ濾過シテ餘滓ヲ去ルベシ此劑ハ冷却スレバ凝固ス使用ノ際ニハ熱シテ液體トナスベシ  
 (六)「ダラカントガム」、微小ノ昆蟲ヲ原紙ニ粘付スルニ廣ク用ヒラル、無色ナル乾製品ナレバ少量ノ水ニテ溶解シ用フ  
 (七)「ナフタリン」、害蟲及ビ黴菌ノ害ヲ防グ爲メニ用ユル良劑ナ

リ白色ノ片末ニシテ揮發性ニ富ミ且ツ異臭アリ  
 (八)二酸化炭素、惡臭ヲ有スル揮發性ニ富メル殺蟲劑トシテ最も有効ナル藥劑ナリ殊ニ室内土藏等ノ害蟲ヲ驅除スルニ適ス又標本箱ニ害蟲ノ發生セシトキハ同劑數滴ヲ函中ニ入レ蓋ヲ密封スルトキハ其中ニテ揮發シ害蟲ヲ殺スモノナリ  
 (九)「テレピン」油、甲蟲類ノ如キ甲翅ヲ有スルモノニ毛筆ヲ以テ塗ルトキハ其ノ光澤ヲ保タシムルノ効アリ  
 (十)石炭酸、防腐劑トシテ種々ノ方面ニ之ヲ用ユルヲ以テ實驗場缺クベカラザル藥劑ナリトス  
 (十一)「ホルマリン」、標本ノ保存液トシテ「アルコール」ノ代用トス  
 (十二)「アルコール」、最モ普通ニ用ユル標本保存劑ナリ其割合ニ種種アリト雖モ通常ノ標本ヲ保存スルニハ七十五「パーセント」乃至八十「パーセント」ヲ以テ適度トス又本邦ノ如ク標本ニ黴菌ノ



發生多キ所ニテハ微菌洗滌劑トナリ或ハ酒精燈ニ供スベキナ  
リ

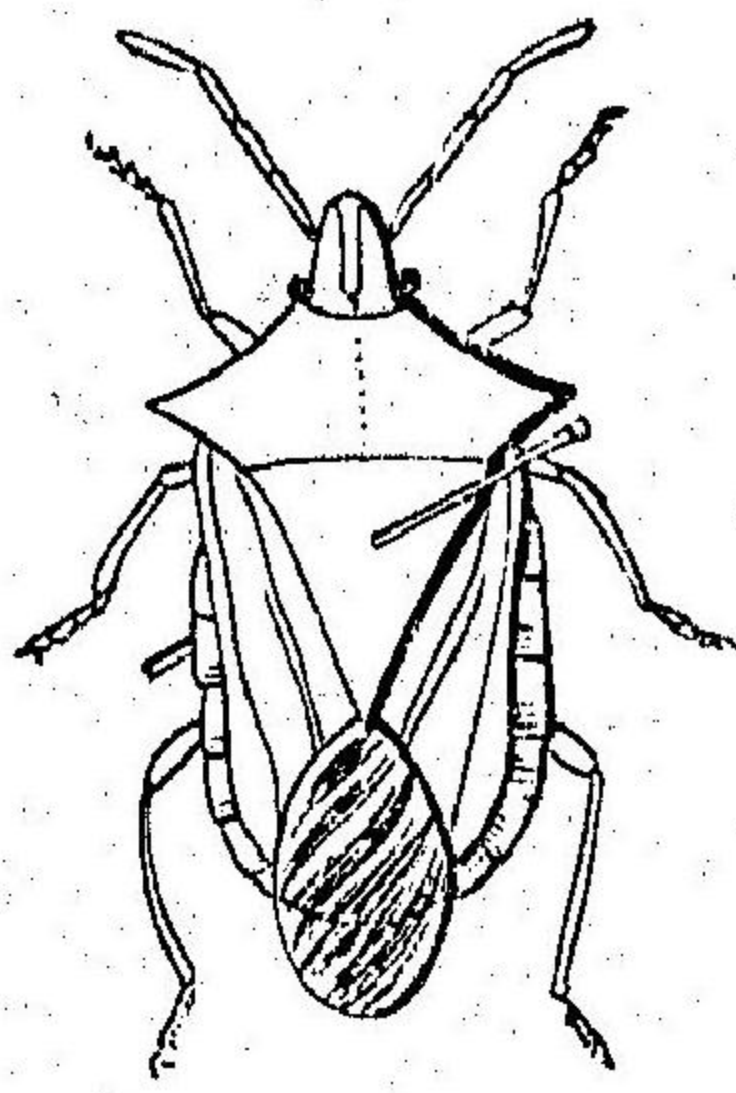
第四節 標本製法及貯藏法

(甲) 製作法一斑

(一) 昆蟲ヲ蟲針ニ刺ス法、標本ヲ整理シ之ヲ標本函ニ排列シ其  
體裁ノ良否ハ昆蟲ヲ蟲針ニ刺貫スルトキノ注意如何ニ關係ス  
ルモノナリ左ニ大要ヲ記ス他ハ各自ノ經驗ト熟練トニヨリテ  
知得セラルベシ

第二百二十三圖

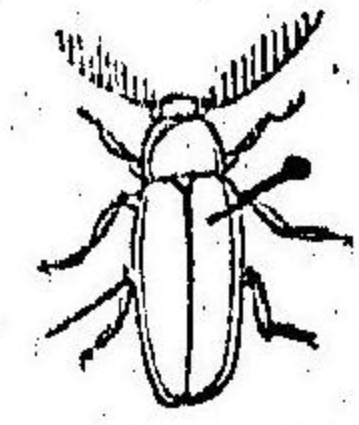
半翅類ヲ蟲針ニ刺シタル狀



- (イ) 通常ノ昆蟲類ヲ蟲針ニ刺貫スルトキハ之ヲ其胸部ノ中央ニ刺スベシ
- (ロ) 半翅類ノ如キハ胸部ノ稜狀部ヲ刺貫スベシ
- (ハ) 甲蟲類ニ限り蟲針ヲ貫クニハ右方ナ

ル前翅(鞘翅)ノ上部即チ中脚ト後脚トノ中間ニ出ヅル様刺ス  
ベシ

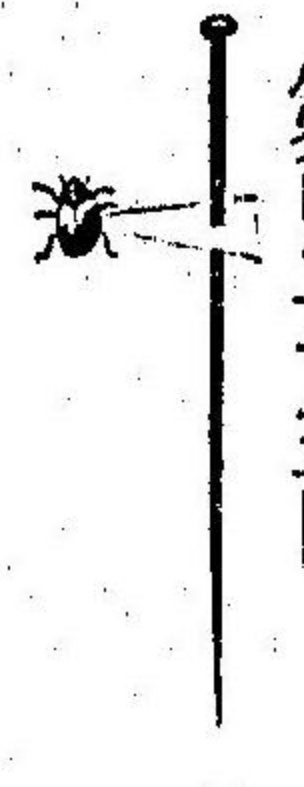
第二百二十四圖



甲蟲ヲ蟲針ニ刺シタルノモル

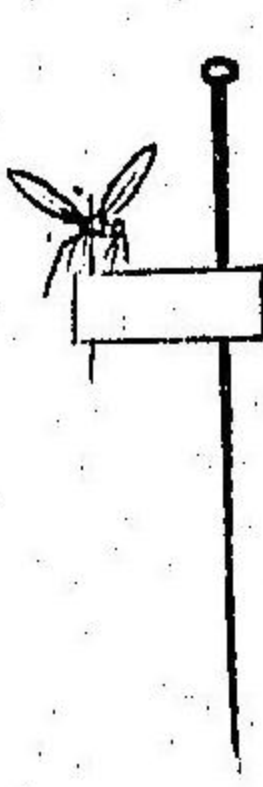
(ニ) 微小ノ昆蟲ニシテ蟲針ヲ以テ刺スコト能ハザル者ハ厚洋紙ニ粘着スルカ若クハ二重針ニ刺スベシ此二法ノ内何レヲ採用スルカハ其昆蟲ノ種類ニヨリテ相同ジカラズ甲蟲類、半翅類、膜翅類及ビ其他ノ種類ヲハ厚洋紙ニ粘着シ雙翅類ニ限り之ヲ二重針ニ刺スベシ  
第二百二十五圖ノ如ク厚洋紙ヲ長脚三角形ニ切り其尖端ニ「ゴム」ニテ標本ヲ粘着スベシ又二重針ヲ製スルニハ先ヅ「スイト

第二百二十五圖



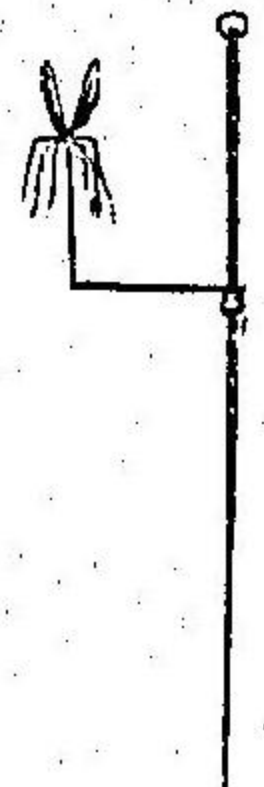
微小昆蟲ヲ厚洋紙ニ粘着スルノモル

第二百二十六圖



(二其)

第二百二十七圖



(三其)

リ紙ノ如キ厚洋紙ヲ幅一分五厘長サ三分位ニ切り第二百二十



六圖ノ如ク其一端ニ三號針ヲ貫キ他ノ一端ニ一號若クハ〇號針ヲ下面ヨリ上ニ貫キ厚紙ノ上ニ出ルコト大約二三分ナラシメ其下部ヲ切斷シタルモノナリ「ピンセット」ヲ以テ微小ノ雙翅類ヲ其小サキ針ノ尖端ニ刺貫スベシ且ツ又第百二十六圖ノ如ク三號針ニ〇號針ヲ捲キ付ケ製スルモ可ナリ本邦ニテハ多ク昆蟲ヲ厚洋紙ニ粘着シ肢翅ヲ整理シタル標本ヲ多ク製作スルガ如シ一見スルトキハ其體裁甚ダ善キモ永ク之ヲ保存スルトキハ蟲ヲ附着セル「ゴム」ニ塵芥ノ多ク集マルアリ又標本ニ菌類ノ發生セシトキ「アルコール」ヲ以テ之ヲ洗濯スルトキハ其紙面ヲ汚シ永ク其紙ヲ清潔ニ保存スルコト難シ且ツ其標本ヲ研究ノ材料トセントスルトキハ間々之ヲ剝離スルニアラザレバ其腹面ノ構造ヲ見ルコト能ハザルノ不便アリ

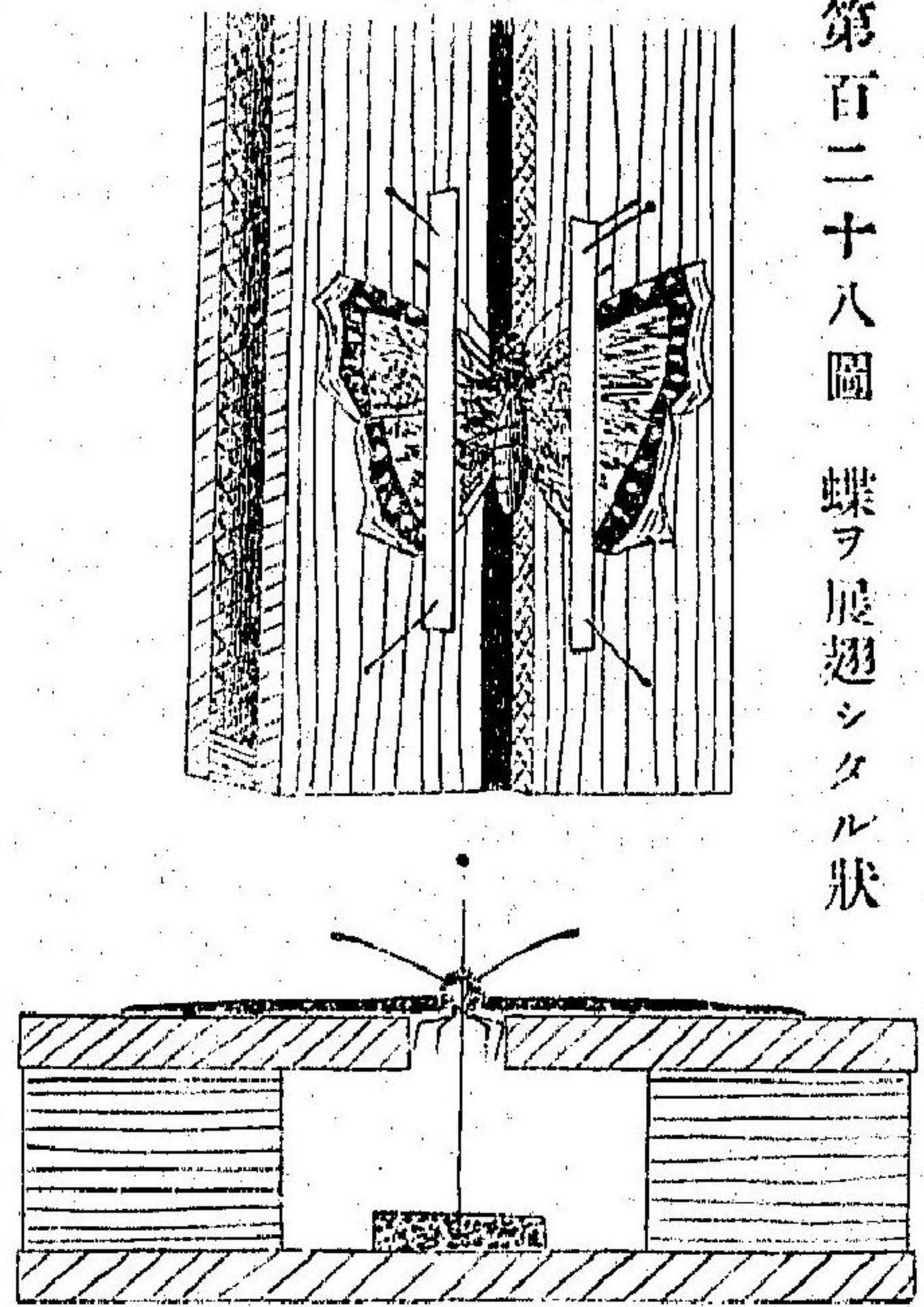
(ホ) 蟲體ヲ均一ノ高サニ整列センガ爲メ標本ノ背面ヨリ上ニ出ヅル蟲針ノ長サハ大約其四分ノ一位トナスベシ

(二) 展翅法、昆蟲ノ翅ヲ開展スルノ法ハ種々アリト雖モ要ハ其展翅シタル標本ノ左右同等ナルコトヲ努ムルニアリ一方ノ翅他方ヨリ高キカ或ハ觸角ノ一方ハ前端ニ向ヒ他方ハ横面ニ向フガ如キコトノナキ様注意スベシ展翅法ハ主ニ鱗翅類ニ施スト雖モ蜻蛉、蟬、蝗及ビ蜂類等ニモ間々展翅ヲ要スルコトアリ展翅板ハ單ニ翅ヲ開展スルノミニ非ズシテ體及ビ脚ノ整理ヲナストキニモ之ヲ用ユ

(イ) 鱗翅類ノ翅ヲ開展セントスルトキハ先ヅ蟲針ニテ刺シタル蝶若クハ蛾ヲ取り之ヲ展翅板ノ溝ニ刺シ込ミ注意シテ其翅ヲ左右ノ板上ニ擴ゲ翅ノ位置ヲ正シ前翅ノ後縁ト後翅ノ前縁トヲ蟲體ト九十度ノ角ヲナサシメ三角形若クハ細長ニ



第二百二十八圖 蝶ヲ展翅シタル狀



切リタル厚紙ヲ以テ之  
 ナ壓ヘ留針ヲ以テ厚紙  
 ノ端ヲ刺シ大約一週間  
 ニシテ蟲體ノ乾燥スル  
 ナ俟ツテ厚紙ヲ除キ之  
 ナ展翅板ヨリ拔キ取り  
 標本貯藏函ニ移入スベ  
 シ

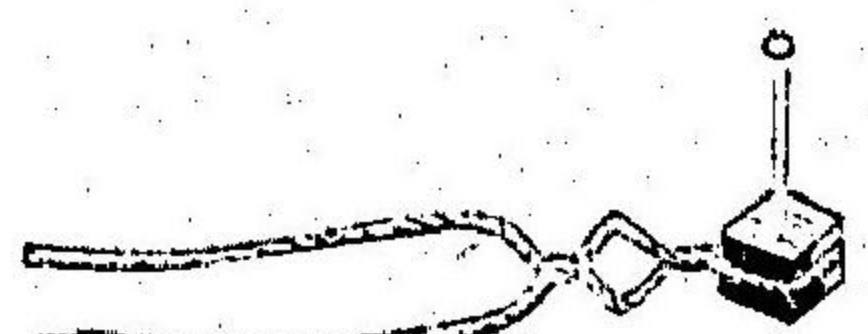
(ロ) 直翅類ハ通常其右翅ノミヲ開展ス

(三) 幼蟲ノ乾製法、先ヅ「ピンセット」ヲ左手ニシテ仔蟲ノ尾端ヲ壓シ展翅用針ヲ右ニシテ肛門及ビ腸ノ小部ヲ破リ之ヲ小サク切リタル新聞紙上ニ置キ左手ノ「ピンセット」ヲ以テ頭部ヲ壓ヘ右手ニ鉛筆ヲ採リ徐々ト其鉛筆ヲ以テ體上ヲ頭部ヨリ尾端ニ向

ヒテ壓シ下グルコト數回ニ及ブベシ然ルレハ内臟ヲ脫出スベシ其内臟ヲ「ピンセット」ヲ以テ取り去リシ後テ酒精ニテ内部ヲ洗條スベシ次ニ吹脹管ノ先端ヲ肛門ノ處ヨリ腸ニ挿入シ空氣ノ漏レザル様絲ニテ結び徐ロニ空氣ヲ吹キ入ルベシ尙ホ呼吸ノ際ハ吹脹管ノ「ゴム」部ヲ堅ク壓シテ空氣ノ漏ル、ヲ防グベク斯クシテ豫メ用意セシ熱シタル「ホヤ」ニ入レ能ク乾燥セシムベシ茲ニ注意スベキハ仔蟲天然ノ體形ヲ失ハザルニアリ熱度高キニ過レバ皮毛ヲ焦シ又乾燥ノ際仔蟲ノ一方ニ曲ルコトアリ故ニ時々之ヲ廻スベシ乾ケバ仔蟲ニ殘シアル腸ヲ肛門ノ處ヨリ切り取り吹脹管ヨリ取り去ルナリ  
 別ニ立方形容ニ切リタル「コイル」片一分五厘立方ニ第三號針ヲ貫通シテ之ニ細キ針金ヲ捲キツケタルモノヲ二三回廻ヒ餘端ヲ第二百二十九圖ノ如キ形ニ作り吹脹シタル幼蟲ノ肛門ヨリ徐

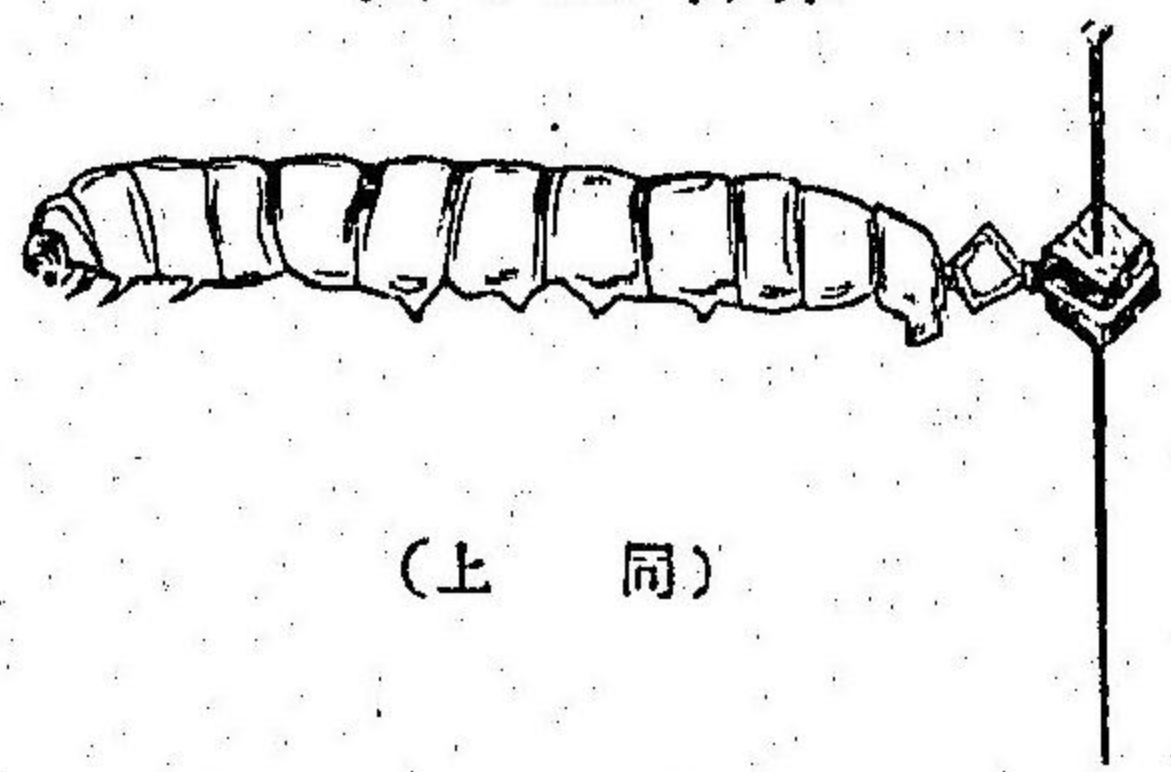


第二百二十九圖



針ス刺ヲ蟲幼ルタキ乾

圖十三百第



(上 同)

徐針金ヲ推シ入ル、コト第百三十圖ノ如クスベシ多クノ幼蟲ヲバ「アルコール」液ニ保存シ置クコトヲ得ベシ「アルコール」液(八十パーセント)ニ浸ス前熱湯ニテ之ヲ殺スベシ然ルトキハ變色ス

ルコト稍ヤ少ナシ  
(五)卵、卵ハ熱湯若クハ他ノ殺蟲劑ニテ殺シタル儘乾燥セシムルヲ可トス或ハ酒精ニ浸シ保存スルモ可ナリ枝上又ハ葉上ノ卵ヲバ枝葉共ニ採集スベシ  
(六)蛹、蛹ハ蟲針ニ刺シ乾カシテ保存スベシ若シ肥大ノモノナレバ腹面ヲ縦ニ切り剖キ内臓ヲ除キ内ニ「ナフタリン」ヲ塗抹シ

綿ヲ填充シテ乾カスヲ以テ可トス

(七)發生經過標本、卵ヨリ孵化シテ成蟲トナル迄ノ順序ヲ示スモノニシテ其食物トスル植物ヲモ副ヘ置クベシ此標本ハ教育上最モ有益ノモノナレバ斯學ニ志スモノハ努メテ之ヲ製作スベシ

(イ)教育用標本トシテ左ニ家蠶ノ發生經過ヲ舉ゲン

- 一、卵
- 二、第一齡
- 三、第二齡
- 四、第三齡
- 五、第四齡
- 六、第五齡
- 七、蛹
- 八、繭
- 九、蛾♀♂

右ノ如ク小箱内ニ整理排列セバ一見シテ其發育ノ順序瞭然タルベシ

(ロ)害蟲標本トシテ製作スルトキハ教育用標本ノ如ク發生經過ノ順序ヲ瞭然タラシムルノミナラズシテ其被害植物及ビ

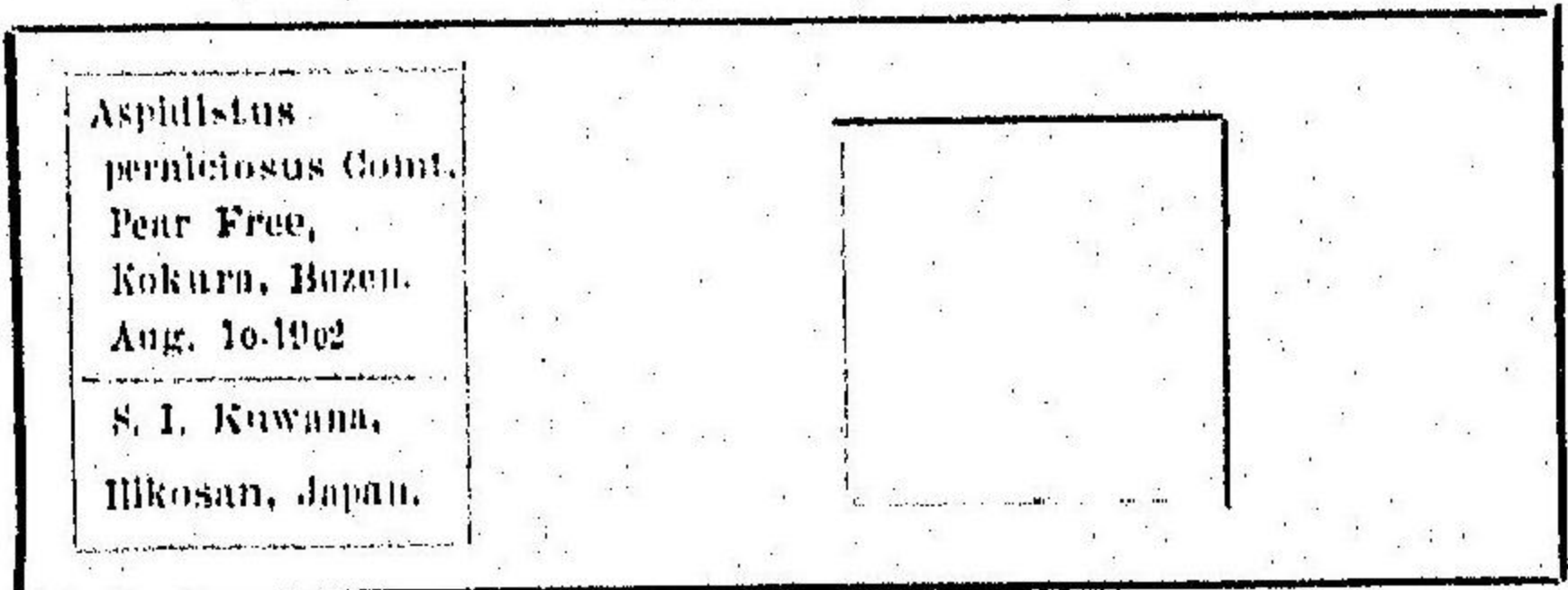


有益蟲ヲモ添へ置クベシ

(八) プレパレート製法、左ニ其最モ製シ易キ種類二三ヲ舉ゲン  
トス

(イ) 蚤虱及ビ「スレツブス」ノ如キ微小ノ昆蟲ニシテ蟲針ニ刺シ  
能ハザルモノハ之ヲ「プレパレート」ニ製シ顯微鏡ニテ研究ス  
ルコトヲ得ベシ先ヅ右ノ内何レノモノニテモ之ヲ八七「パー  
セント」ノ「アルコール」ニ數時間入レ置キ其レヨリ九七「パーセ  
ント」ヲ通過シテ百「パーセント」無水アルコールニ入レ一時間  
餘ニシテ更ニ之ヲ「テレピン」油ニ浸シ之ヲ透明ニスベシ然ル  
後之ヲ臺硝子ノ中央ニ置キ「カナダバルソム」ヲタラシ其上  
ニ覆硝子ヲ冠スベシ第百三十一圖ハ之ヲ示セリ  
若シ「グスリンゼリー」ヲ用ユルトキハ蟲體ノ水分ヲ全去スル  
ノ必要ナシ然レド覆硝子ヲ冠セタル後之ヲ「ラック」ニテ封ゼザ

第百三十一圖



ト - ラ パ レ プ

レバ菌類ノ寄生スル恐レアリ  
蝶ノ鱗片及ビ蚊ノ口部、觸角等ヲ「プレパレート」  
ニ製スルトキハ研究ノ好材トナルベシ  
ばつた及ビとんぼノ眼ヲ製スルニハ針ニテ複  
眼ヲ剥キ裏面ニアル色素ヲ除キタル後チ前述  
ノ如クスベシ

(乙) 貯藏法、昆蟲ヲ採集シ標本ヲ製作スルニ如  
何ニ妙ヲ得シト雖モ若シ其貯藏法及ビ保管法  
ヲ知ラザルルハ有益ナル標本ヲモ廢物ニ歸ス  
ルコトアリ故ニ之ヲ永年破損スルコトナク保  
存セントスルニハ能ク注意セザル可カラズ凡  
テ乾製標本ハ氣密ナル標本函ニ排列シテ懇切ニ取扱フベシ箱  
内ニハ「ナフタリン」或ハ樟腦ヲ毛布ニ包ミ之ヲ適宜ノ處ニ挿入



スベシ箱ヲバ常ニ光線ノ當ラザル乾燥セシ處ニ置クベシ本邦ノ如ク水蒸氣ニ富メル國殊ニ入梅ノ候ニハ黴菌ノ發生多クシテ爲メニ標本ヲ害スルコト尠ナカラズ此際ハ成ルベク標本箱ノ蓋ヲ開放シ外氣ニ曝スコトナキ様注意スベシ

第五節 學名札及ビ目錄書式

(一) 學名札及ビ日付札 標本ヲ製作シテ貯藏箱ニ收ムルトキハ各標本ニ採集地年月日及ビ採集者ノ姓名ヲ記シタル小札ヲ附シ置クベシ又別ニ各種類ニ其學名札ヲ附ケ置クコト肝要ナリ若シ學名ノ不明ナルトキハ和名ノミニテモ可ナリ日附ノ小札ハ成ルベク小サキチ長トス(幅一分長サ三分位)而シテ之ヲ昆蟲ヲ刺シタル蟲針ニ刺スベシ學名札ハ各標本ノ左方ニ附スルモノトス學名札ハ其大サ一様ナラズト雖モ成

圖二十三第



學名札

圖三十三第

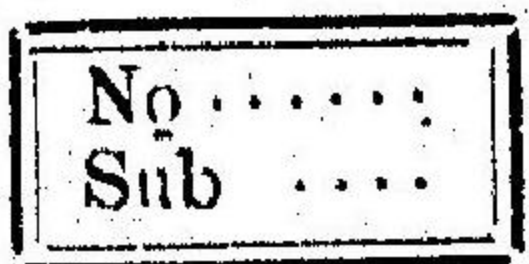


日付札

ルベク小サキチ長トス

(二) 目錄書式 商家ニ臺帳アル如ク昆蟲標本ヲ採集スルニモ又或一定ノ法式ニヨリ帳簿ヲ作り置クコト必要ナリ帳簿ト標本

圖四十三第



番號札

トノ引合セテ爲スニハ合番ヲ作ルベシ先ヅ番號ノ入りタル小札ヲ標本ニ刺シ其レト同番號ヲ帳簿ニ記シ其下ニ採集日時採集地名頭數及ビ備考等成ルベク精シク之ヲ記入シ置クベシ勿論學名若クハ和名ノ明カナルトキハ之ヲ記載スベキモ若シ不明ナルトキハ他日ヲ俟ツテ記入スルコトトシ只其番號ニヨリテ記錄シ置クベシ番號ニハ相違ノ出來ザル様深ク注意スベキナリ他ヨリ標本ヲ送り來リタルトキ若クハ交換ノ際附屬セル書翰ヲバ之ヲ帳簿ニ記入シ他日ノ參考トスベシ

第六節 昆蟲飼育

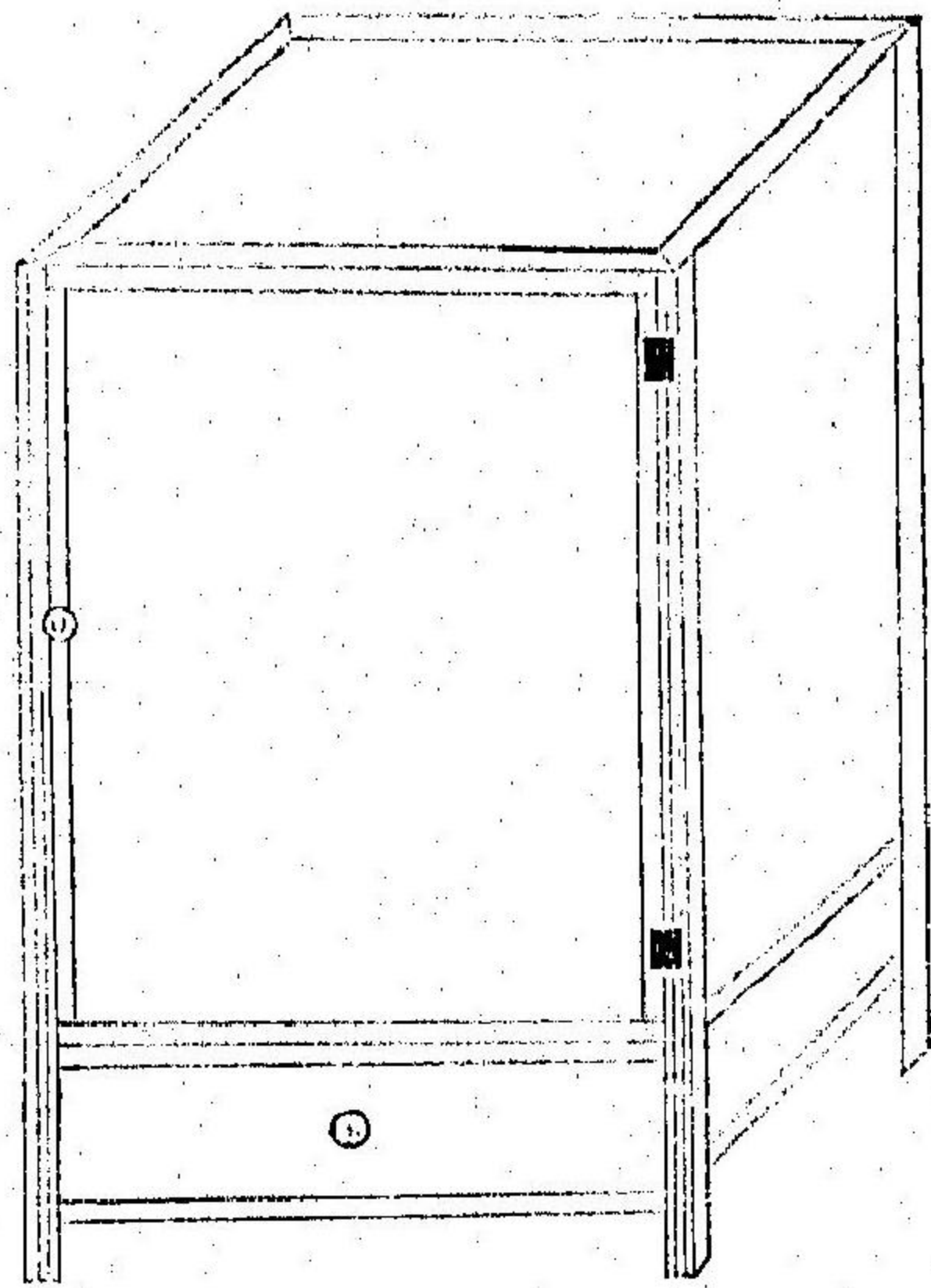


昆蟲ノ發生經過ヲ學ブニハ野外ニ於テ之ヲ爲シ得ルト雖モ飼育箱内ニ於テ飼育スルヲ以テ便利ナリトス故ニ斯學ヲ學ブニハ常ニ飼育函ノ用意ナル可カラズ

(一) 飼育函 其種類及ビ形ハ種々アリテ一様ナラズ且ツ完全ナル飼育函ヲ造ランニハ高價ヲ要スルヲ以テ斯道專攻ノモノト雖モ尙ホ之ヲ準備スルコト容易ノコトニアラズ初學ノ者ハ先ヅ安價ニシテ平易ニ自ラ作り得ベキ而カモ輕便ナル飼育函ヲ以テ飼育スベシ左ニ二三ノ輕便ナル飼育函ヲ記載シ以テ參考ニ供セントス

(イ) 一般ニ用ユル飼育函 第三百三十五圖ノ如ク長方形ニ作り高サ一尺八寸幅一尺二寸トナシ下部ノ三面三寸ノ腰板ヲ張り餘リノ一面ニハ之ヲ張ラズシテ引出ヲ附スベシ腰板ノ上部ナル箱ノ三面及ビ天井ニハ眞鍮若クハ他ノ金屬製ノ目ノ

細キ網ヲ張りタル戸ヲ蝶鉸ニテ取り付ケ開閉ニ便ナラシム  
第三百三十五圖 飼育箱



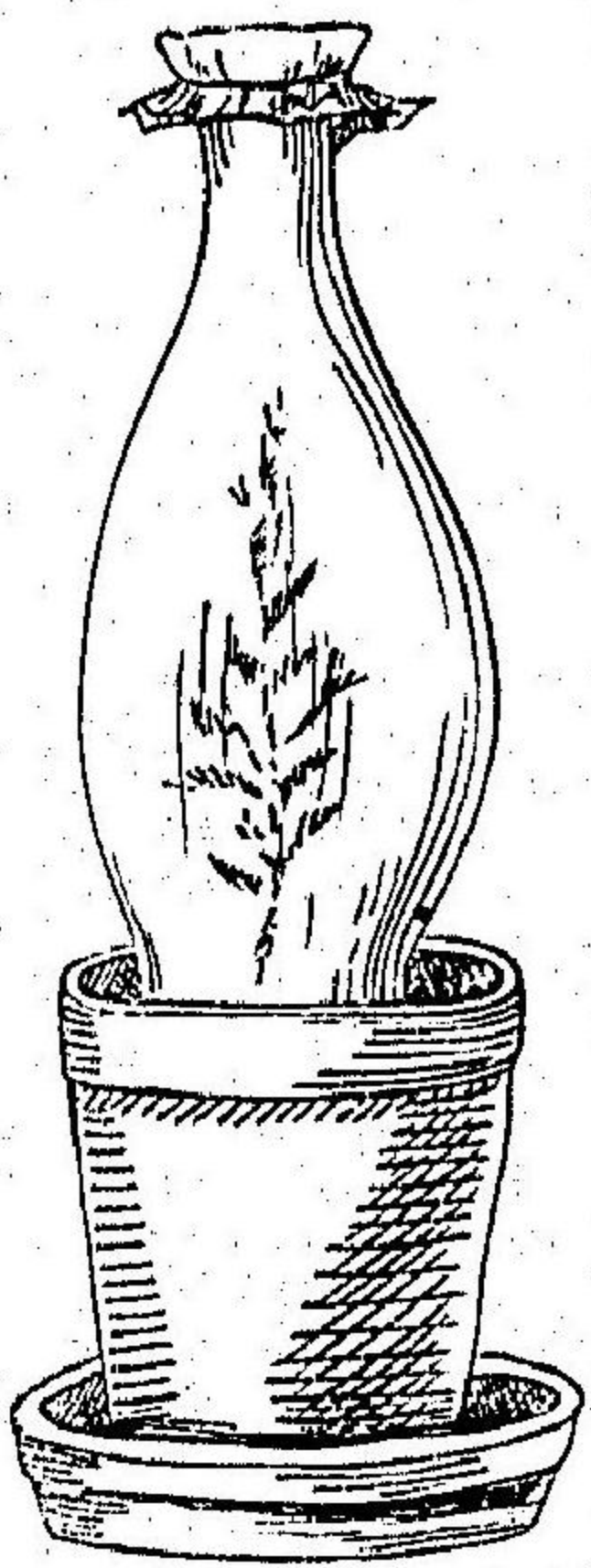
別ニ函内ニハ小サキ硝子瓶若クハ長サ三四寸ノ竹筒ヲ安置スベシ育蟲ノ時ハ之ニ水ヲ入レ植物ヲ挿入シ幼蟲ヲ放ツナリ夜盜蟲若クハ天蛾ノ如ク幼蟲ノ成熟シタルモノト土中ニテ蛹化スモノハ引出ニ土ヲ入

レ置キ小シク之ヲ濕スベシ

(ロ) 簡易ナル飼育器 第三百三十六圖ノ如ク植木鉢ニ土ヲ充シ其真中ニ小サキ硝子瓶ヲ埋メ置キ之ニ幼蟲ノ嗜好スル植物ヲ差入レ(小サキ植物ナルトキハ其内ニ植ユルコトヲ得ベシ)幼蟲ヲ放チ洋燈ノ「ホヤ」ヲ以テ植物ヲ被ヒ其上ノ口ヲ寒冷紗



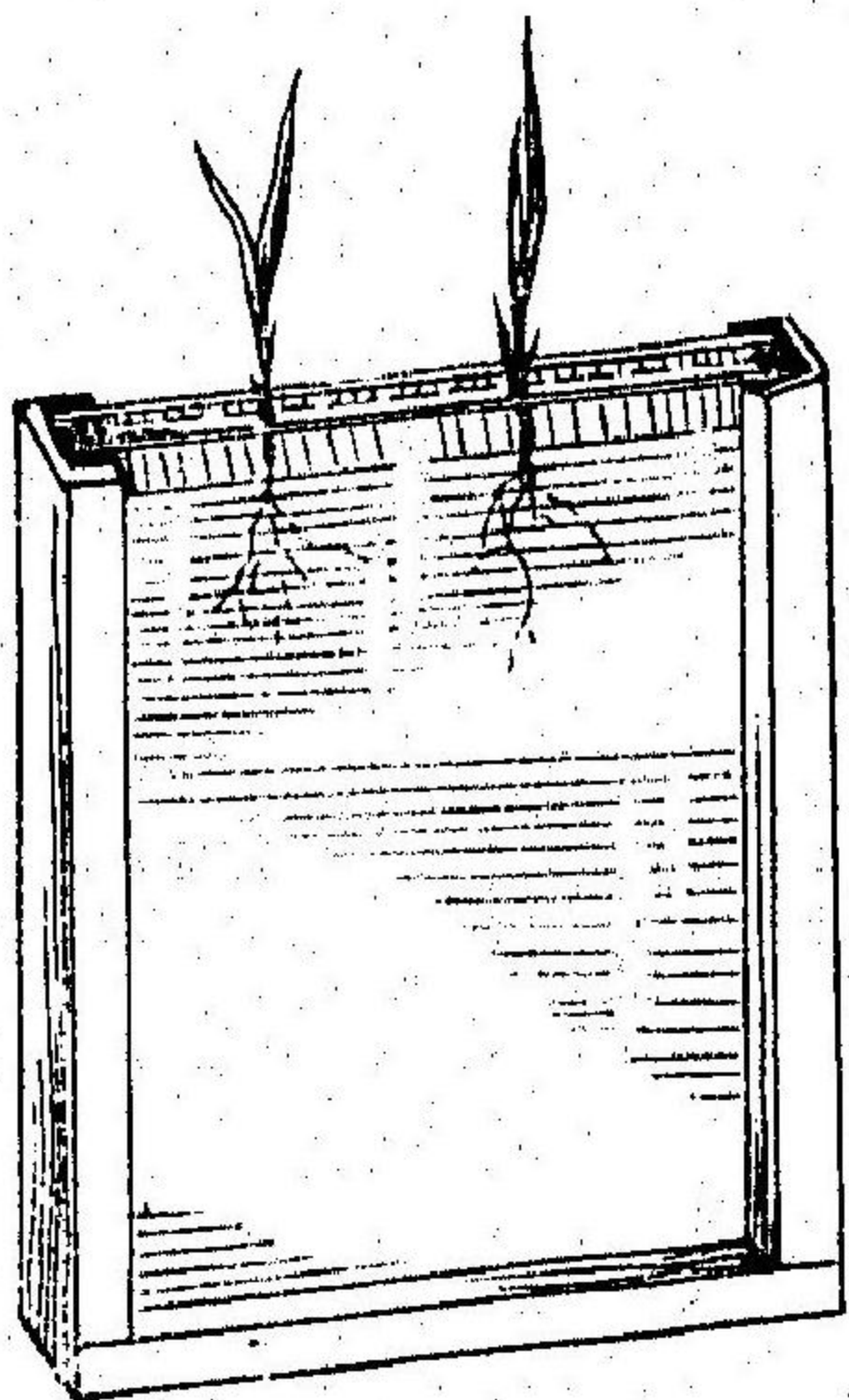
第三百三十六圖 簡便ナル飼育器



ニテ閉ヅベシ

(ハ) 根ヲ食害スル昆蟲飼育函  
根切蟲及ビ針金蟲ノ如ク植物  
ノ根部ヲ食フテ生活スル種類  
ヲ飼育シ其状態ヲ學バンニハ

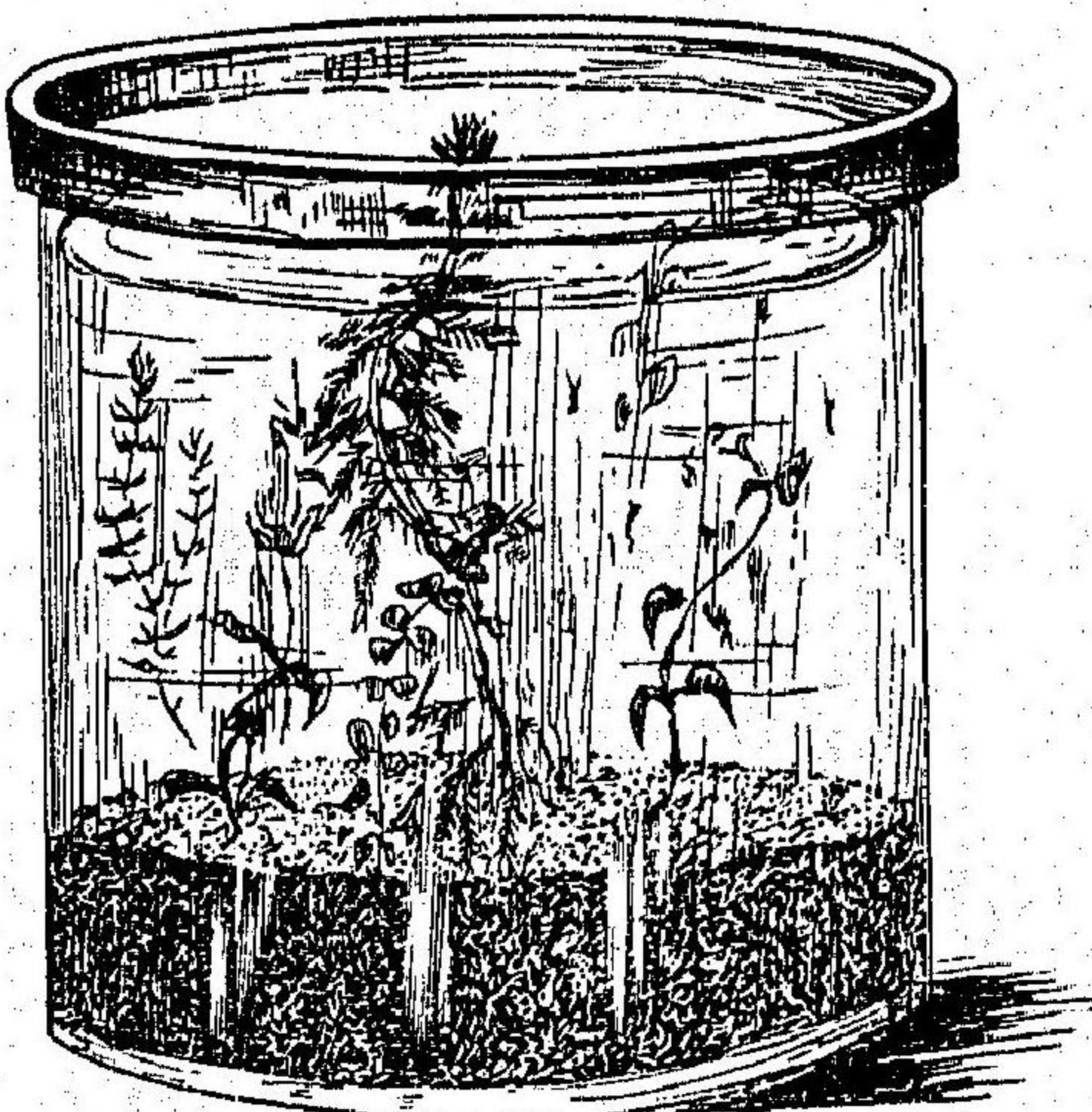
第三百三十七圖 根ヲ食スル昆蟲飼育器



飼育函ヲ特別ニ製作セザルベカラ

バ 第三百三十七圖ノ如ク二枚ノ硝子  
板ヲ木製ノ框ニ入レ別ニ亞鉛板若  
クハ黑色ノ布ヲ以テ硝子板ノ外部  
ヲ被ヒ平時ハ函内ヲ暗黒ナラシム  
ベシ硝子板ノ間ノ廣狹ハ飼育セン  
トスル昆蟲ノ種類ニヨリテ同ジカラズト雖モ成ルベク之ヲ  
狹クシ此間ニ土ヲ入レ之ニ播種スルカ若クハ稚苗ヲ移植シ

第三百三十八圖



(ル據ニ圖原氏アーシロ) アリアクッア

テ飼育セントスル昆蟲ヲ放ツナリ時々函ノ一隅ヨリ水ヲ入  
レ乾燥ナラザル様注意スベシ然ルトキハ植物ノ生ズル所狹  
キガ爲メ根部ノ分支及ビ害蟲ノ來リテ加害スルノ状ヲバ一  
見直チニ認メ得ベキナリ  
(ニ)「アックアリア」、蚊ノ發生若クハ蜻蛉其他ノ水棲昆蟲ノ習

性ヲ室内ニテ研究セントスル  
ニハ「アックアリア」ヲ裝置セザ  
ル可カラズ蚊ハ多ク腐敗セル  
水中ニ生活スル者ナレバ通常  
西洋菓子ノ空キ瓶若クハ他ノ  
硝子瓶ヲ使用スルユトヲ得ベ  
シ蜻蛉及ビ他ノ水棲昆蟲ハ清  
潔ナル水ヲ要ス此場合ニ於テ



ハ清淨ノ水ヲ瓶ニモリ底ニ小石ヲ敷キ水面ニ水草ヲ浮ベ置  
クトキハ常ニ水ヲ清潔ニ保存シ得ベシ多クノ水棲類(甲蟲及  
ヒ半翅類)ハ夜間飛翔スルヲ以テ金網ニテ其上ヲ閉ツベシ  
(二)飼育法 山林原野ニ入り草木ノ枝葉等ニ附着スル卵アルト  
キハ之ヲ採集シ其卵ノ孵化スルトキハ其幼蟲ヲ卵ノ附着セ  
シ植物ニテ飼育スベシ又幼蟲ヲ發見セシトキハ其見出シタル  
植物ヲ以テ飼育スベシ昆蟲ノ親蟲ハ多クノ場合ニ於テ幼蟲ノ  
食餌トスル植物ニ産卵スルモノナリ若シ蛹及ビ繭ヲ發見セシ  
トキハ之ヲ採集シテ養蟲函ニ入レ置キ成蟲ノ出デテ卵ヲ産ム  
トキハ來春ヲ以テ其卵ヲ孵化セシメ之ヲ飼育センコトヲ努ム  
ベシ卵、幼蟲、蛹、繭及ビ成蟲等ヲバ各々之ヲ保存シ置キ後發生經  
過ノ標本ヲ製作スベシ飼育ノ際寄生昆蟲ノ出シトキハ之ヲ大  
切ニ保存シ置キ且ツ其寄生ノ状態ヲ檢視スルコト肝要ナリ

飼育中注意スベキ要點ヲ掲グレバ左ノ如シ

- (イ) 如何ナル境遇ノ下ニ生活シ居ルヤヲ採集スル前ニ學ブベシ
- (ロ) 若シ植食昆蟲ナリトセバ植物ノ何レノ部分ヲ食スルヤ且ツ其食スル有様ニ注意スベシ然ルトキハ之ニ適當ナル食物ヲ與フルコトヲ得ベシ
- (ハ) 水棲昆蟲ナルトキハ其生活スル水ハ流水ナルヤ將タ溜水ナルヤヲ認定スベシ
- (ニ) 肉食昆蟲ナルトキハ其捕食スル動物ヲ知ルコトヲ要ス
- (ホ) 注意シテ採集ノ際傷クベカラズ
- (ヘ) 採集セシ昆蟲ヲ窒息セシメザル様注意スベシ
- (ト) 水中ヨリモ濕ヒタル砂中ニ植物ヲ差シ置クトキハ永ク保存シ得ルナリ且ツ幼蟲ノ溺死スル恐レナシ



(子) 瓶中ニ水ヲ入レ之ニ植物ヲ差シ置クトキハ其口ヲ綿若クハ苔ヲ以テ閉テ幼蟲ノ落ち入ルヲ防クベシ

(リ) 多クノ昆蟲類ハ土中ニテ蛹化スルヲ以テ函中ニ土ヲ入レ置クコト必要ナリ且ツ土ノ乾燥セザル様注意スベシ蛹ノ期ニ於テ甚ダシク乾燥スルトキハ成蟲ノ期ニ達セズシテ死スルモノナリ又濕ヒ度ヲ過グルトキハ遂ニ發生スルコト能ハズ且ツ微菌ノ害ヲ被ムルコトアリ

(ヌ) 越冬ノ蛹ヲバ暖キ室ニ保存シ置クベシ

(三) 飼育日誌、昆蟲ヲ飼育スルノ目的ハ其發生經過及ビ生活ノ状態ヲ知ルニアレバ飼育ノ際ニ起リタル事柄ヲ細密ニ記載シ置クコト肝要ナリ而シテ其書式ハ必ズ一定シ置クベシ

左ニ其書式ノ一斑ヲ記ス

一、名稱(和名及ビ學名)

一、採集年月日、採集地名及ビ採集者ノ姓名

一、食物ノ名稱(和名及ビ學名)

一、卵ノ在所及ビ孵化セシ日時

一、幼蟲(蛻皮ノ月日、狀況、着色、慣性等)

一、蛹(蛹化ノ月日、狀況及ビ着色)

一、成蟲(發生月日及ビ雌雄)

一、寄生動植物(寄生蜂、寄生蠅、食蟲動物及ビ菌類)

一、備考

蟲類ノ發生經過ノ順序ヲ一目瞭然タラシメンニハ左表ニ依リテ之ヲ示スヲ便ナリトス



第一表 一年世紀

三	二	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月 年 第 一 年
					+	+						
						+	+					

第二表 二年世紀

三	二	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月 年 第 二 年
					+	+						

附號ノ解  
 一 卵子  
 一 幼蟲  
 一 蛹  
 一 成蟲  
 一 加害ヲ示ス

昆蟲學研究法終

附 錄

害蟲驅除豫防法一斑

○ 稻ノ害蟲

螟 蟲

- 一 點火誘殺法ヲ以テ蛾ヲ捕殺スルコト
- 一 卵塊ノ採集
- 一 被害ノ葉稈ヲ燒棄スルカ若クハ堆肥トシテ蛹ヲ殺スコト

浮塵子

- 一 稻田ニ石油ヲ注ギ驅除スルコト(他ノ殺蟲液ヲ用ユルモ可ナリ)
- 一 畦畔ノ雜草ヲ刈取り又ハ燒棄スルコト

椿 象

- 一 油類ヲ注下シタル水器中ニ蟲ヲ拂ヒ落スコト
- 一 捕蟲網ヲ以テ捕フルコト

蟲 蟻

- 一 苗代田ニ發生シタルトキハ深ク水ヲ湛ヘ米糠ヲ撒布シ細竹ヲ以テ
- 一 苗ヲ拂ヒ水中ニ沈溺セシメ掬ヒ取ルコト

○ 桑樹ノ害蟲

- 一 採卵スベキコト



天 牛

一 樹幹ニ蝨入りタル幼蟲ニ油類ヲ注射スルカ若クハ針ヲ以テ刺殺スルコト

尺 蠖 蟲

一 早春枝幹ニ直立セル幼蟲ヲ捕殺スルコト  
一 採卵スベキコト

蛄 蝻

一 夜間點火シテ蛾ヲ誘殺スルコト  
一 幼蟲ノ時ハ枝葉ニ群集スルヲ以テ之ヲ切取ルコト

○ 麥 粟 ノ 害 蟲

ね び り が

一 輪作法ヲ行フコト  
一 被害麥ヲ檢シ幼蟲ヲ殺スコト

油 胡 麻

一 被害地ノ或部分ニ深サ凡ソ一尺以上ノ溝ヲ掘リ其内ニ此蟲ノ好ム餌ヲ入レ置キ蟻集スルヲ俟ツテ之ヲ燒殺スコト

蟋 蟀

一 畑ノ所々ニ藁ヲ積ミ置クトキハ日中ニ隠ルヲ以テ之ニ石油ヲギ燒殺スコト

○ 果 樹 及 ビ 重 要 農 作 物 ノ 害 蟲

一 畑ノ周圍ニ溝ヲ掘リ蟲ノ陷落スルモノヲ捕殺スルコト

夜 盜 蟲

一 植物ノ根際ニ藁ヲ布キ蟲ノ其下ニ集マルヲ捕殺スルコト  
一 蛾ヲ誘殺スルコト

金 龜 蟲

一 早朝又ハ雨後被害植物ヲ動搖シ蟲ノ地ニ落ちタルヲ集メ殺スコト  
一 殺蟲劑ヲ注射スルコト

蚧 蟲

一 油類ヲ注下シタル水器中ニ蟲ヲ拂ヒ落スコト  
一 曹達水ニ魚油又ハ種子油ヲ加ヘタルモノヲ施シ驅殺スルコト  
一 石油乳劑ヲ注射スルコト  
一 鯨油石鹼水ヲ注射スルコト

主 要 驅 蟲 劑

○ 石 油 乳 劑

調 合 量 註 曰 一 ガ ー ロ ン (One Gallon) 二 升 五 合 二 勺  
一 英 斤 (One Pound) 九 十 九 分 五 厘 八 毫 餘

石 油 一 ガ ー ロ ン

鯨 油 石 鹼 一 英 斤 乃 至 二 英 斤

水 一 ガ ー ロ ン

調 製 法



先ツ沸騰水中ニ石鹼ヲ溶解シ冷却セザル中直ニ石油ヲ混ジ烈シク之ヲ攪拌シ牛乳様ノモノトナルニ至リテ止ム精製シタル乳液ハ永時貯藏ニ堪ユルモノナリ必要ノトキニ少量ヲ取り出シ之ニ水ヲ混ジテ稀薄トナシ使用スベシ

使用法

- 一 夏期使用ノ分量ハ水十五倍乃至二十倍ノ稀薄液トナスベシ
- 一 大ナル昆蟲ニハ水七倍乃至九倍ノ稀薄液ヲ用ユベシ
- 一 果樹根部ノ綿蟲及ビ地蠶等ニ用ユルニハ地上ニ灌注シ深二寸乃至三寸ノ土ニ濕スニ至テ止ミ後チ充分灌水ヲナスベシ

施用害蟲

蚜蟲介殼蟲むくげむし等

○除蟲菊

調合量

- 水 三ガロン
- 除蟲菊 一オンス

調製法

兩者ヲ混合シタル後使用前二十四時間ニ調製スルヲ要ス若シ即時使用セントスルトキハ五分乃至十分間水ニテ煮沸シ其煎汁ヲ用ユベシ

使用法

如露ニテ撒布スベシ

施用害蟲

溫暖室内ノ害蟲及ビ蔬菜類ノ害蟲等毒藥ノ使用ニ避クベキ場合ニ用ユ

○石鹼水

調合量

- 石鹼 半英斤
- 水 一ガロン

調製法

以上二者ヲ混ジ烈シク攪拌スベシ

使用法



冬季間ノ施用量ハ水一ガロンニ付キ二英斤ノ割合ヲ以テ適量トス  
撒布器ヲ以テ注射スベシ

施用害虫

蔬菜果樹ノ害虫

○「ポールド」混合液

調合量

硫酸銅 六英斤

生石灰 四英斤

水 二十二ガロン

調製法

四ガロンノ沸騰水中ニ硫酸銅六英斤ヲ溶解シ更ニ二ガロンノ水  
ニテ石灰ヲ軟和シ兩者ノ冷却スルヲ待テ硫酸銅ノ溶液ニ石灰乳ヲ混  
ツ尚ホ之ニ水ヲ加ヘテ二十二ガロンノ容量トナスベシ

使用法

使用ノ際ハ絶ヘズ之ヲ攪拌スベシ

施用害虫

蔬菜及ビ果樹ノ害虫

○参考書類

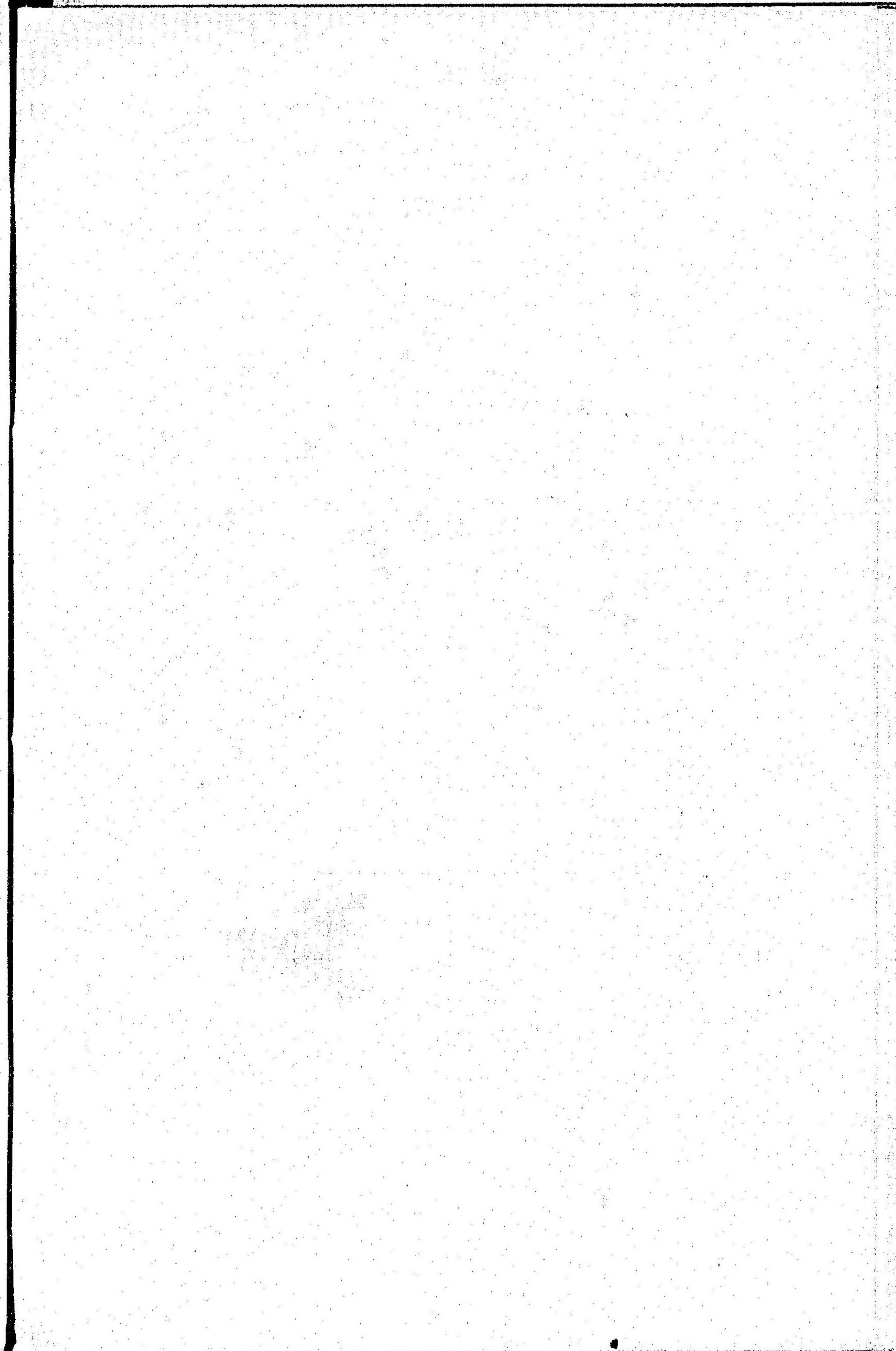
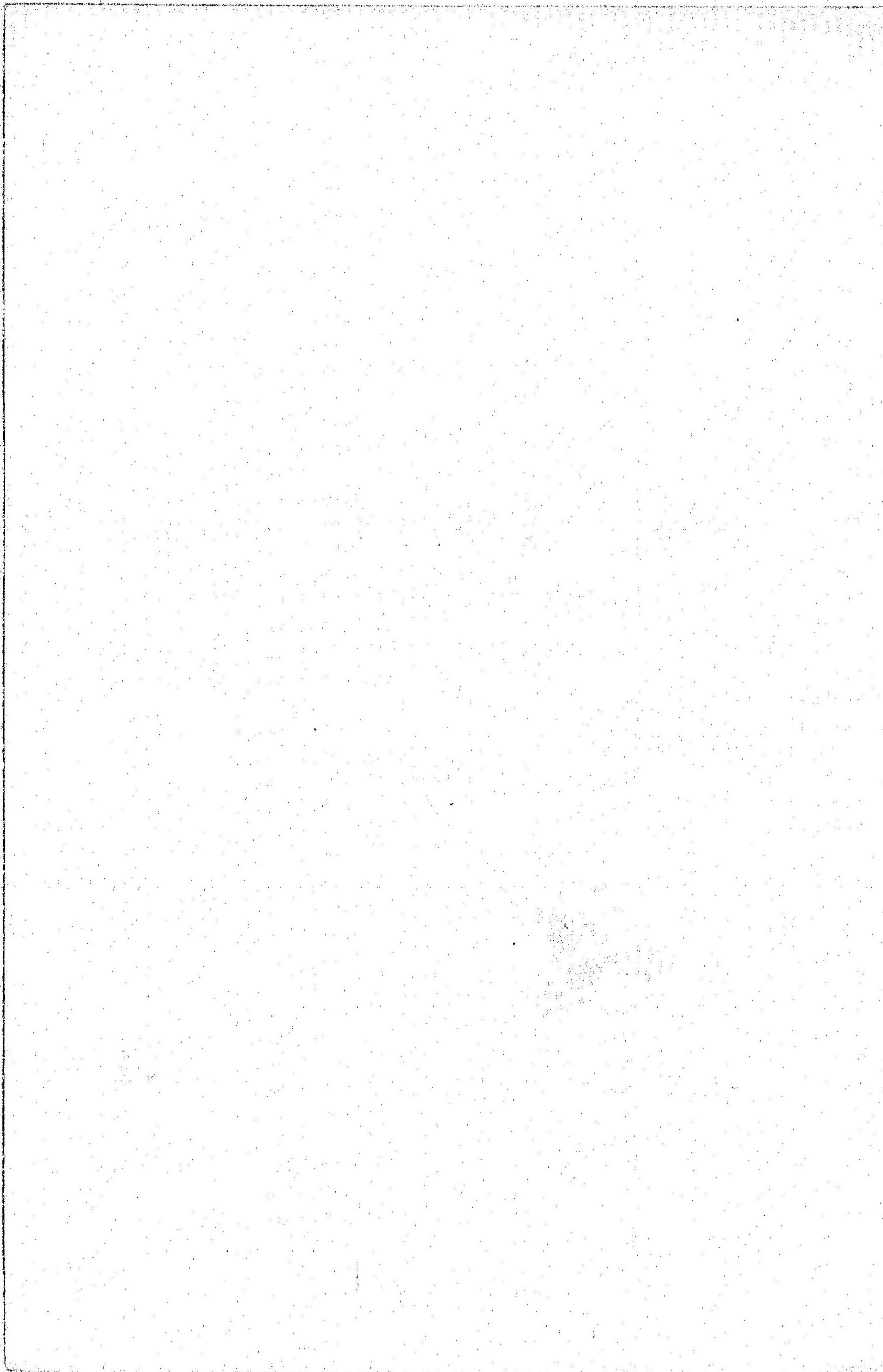
一 日本農作物害虫篇	佐々木忠次郎氏著	東京神田區神保町	敬業社
一 日本樹木害虫篇	佐々木忠次郎氏著		同
一 昆虫分類法	同 氏著		同
一 日本昆虫學	松村松年氏著	東京日本橋區大傳馬場町十一番地	裳華房
一 日本害虫篇	同 氏著		同
一 害虫驅除全書	同 氏著	東京赤坂區溜池町	興農園
一 害虫之 昆虫世界	名和靖氏著	岐阜市京町	名和昆虫研究所
一 昆虫標本製作法	鳥羽源藏氏著	東京日本橋區南傳馬場町二丁目	有隣堂
一 昆虫採集	安藤謙吉氏著	東京日本橋區本町三丁目	博文館
一 ムストック氏 昆虫全書	(Comstock, A Manual for the Study of Insects)		
一 同 氏 昆虫生活	(Comstock, Insect Life)		
一 スミス氏 應用昆虫書	(Smith, Economic Entomology)		



- 一 ウィズ氏 應用昆蟲書 (Weed, Insects and Insecticides)
  - 一 バッカード氏 新昆蟲全書 (Pockard, Text-Book of Entomology)
  - 一 ホワード氏 昆蟲書 (Howard, The Insect Book)
  - 一 ホランド氏 蝶圖説 (Holland, The Butterfly Book)
  - 一 サンダース氏 果樹害蟲篇 (Saunders, Insects Injurious to Fruits)
  - 一 シープレ氏 昆蟲書 (Sharp, Insecta) (The Camb. Nat. Hist. Vol. V-VI)
  - 一 ハイアットアームズ氏 昆蟲書 (Hyatt and Arms, Insecta)
- 器具及ビ藥品販賣所
- 東京淺草區七軒町 教育品製造合名會社
  - 東京神田區五軒町 動物標本社
  - 京都木屋町通三條 島津製作所

昆蟲學研究法附録終







明治三十六年六月二日印刷  
明治三十六年六月五日發行

昆蟲學研究法與附  
（正價金壹圓）

著者 桑名伊之吉

發行者 芳野兵作

印刷者 芳野三郎



發行所 東京市日本橋區大傳馬鹽町十一番地 裳華房  
特約所 大阪市東區備後町四丁目 吉岡平助  
特約所 尾張名古屋市本町三丁目 川瀬代助  
印刷所 東京市京橋區西紺屋町二十六七番地 株式會社 秀英舍



肆書各捌賣

東京日本橋區通三丁目  
 東京日本橋區通三丁目  
 東京京橋區南傳馬町三丁目  
 東京神田區表神保町  
 東京神田區表神保町  
 東京麻布區本村町  
 東京赤坂區青山南町五丁目  
 東京牛込區早稲田字下戸塚  
 京都市上京區寺町通二條下  
 熊本縣熊本市新二丁目  
 鹿兒島縣鹿兒島市中町  
 福岡縣久留米市米屋町  
 大分縣大分竹町  
 石川縣加賀金澤市片町  
 長野縣長野市大門町  
 千葉縣千葉町本町三丁目  
 栃木縣宇都宮市鐵炮町  
 宮城縣仙臺市南材木町  
 秋田縣秋田市茶町菊ノ下  
 北海道札幌南一條西三丁目  
 北海道札幌南一條西二丁目

富進成佐內多西宇甲菊吉長若早山學東中穴林丸  
 貴振見藤田澤都斐竹田崎林稻陽農京西山平善  
 堂堂清政屋喜宮幸茂田堂社堂屋有  
 書書兵太瀨支太源治書兵次一農書誌書書隣次書  
 房房衛耶吉店耶平平店衛耶耶園房局店店堂耶店

明治三十六年三月改正

圖書目錄

東京日本橋區大傳馬鹽町十一番地  
 書肆 裳 華 房

(電話花二三三番)



肆書各捌賣

東京日本橋區通三丁目  
 東京日本橋區通三丁目  
 東京日本橋區南傳馬町三丁目  
 東京神田區表神保町  
 東京神田區表神保町  
 東京麻布區本村町  
 東京赤坂區青山南町五丁目  
 東京牛込區早稻田字下戸塚  
 京都市上京區寺町通二條下  
 熊本縣熊本市新二丁目  
 鹿兒島縣鹿兒島市中町  
 福岡縣久留米市米屋町  
 大分縣大分竹町  
 石川縣加賀金澤市片町  
 長野縣長野市大門町  
 千葉縣千葉市本町三丁目  
 栃木縣宇都宮市鐵炮町  
 宮城縣仙臺市南材木町  
 秋田縣秋田市茶町菊ノ下  
 北海道札幌南一條西三丁目  
 北海道札幌南一條西三丁目

富進成佐内多西宇甲菊吉長若早山學東中穴林丸  
 貴振見藤田澤都斐竹田崎林稻陽農京西山平善  
 堂堂清政屋喜宮幸茂田堂社堂屋右  
 書書兵太濱支太源治書兵次農書誌書書隣次書  
 房房衛郎吉店郎平平店衛郎郎團房局店店堂郎店

明治三十六年三月改正

圖書目錄

東京日本橋區大傳馬鹽町十一番地  
 書肆 裳 華 房  
 (電話浪花二三三番)



書肆の本領

近時の出版界を觀るに、其日々に發刊せらるる所の書、淫靡卑猥、情を傷ひ淫を誨ゆるものに非らずんば、即ち鐵巧猥薄、奇を衒ひ新を標するもの、有害の文字を裝飾するに無益の圖書を以てして、徒らに定見なき兒女の好みに投せんとする、比々然らざるは無く、偶々健實面目の書籍を出すものあれば、輒ち時勢に迂なりとして、これを指笑す、これ社會の爲め、極めて悲むべく、憂ふべきの病的現象を來せしめたる原因、抑も何くにある、趣味卑しく、嗜好下れる讀者の、陋劣なる要求と、この要求に應じ、否、寧ろこれを挑發催進して、衣食の資を得んとする著述家、適當に言へば製本家一の無節操と、互に因果を相爲して、出版界今日の墮落を現出せしめたること、固より言ふを待たず、而かも此讀者と著述家との間に立ちて聯絡媒介の任を有する書肆も、亦與りて罪なしとせず、

蓋し書肆の業も、亦營利を目的とする一箇の商業なり、苟も收利の望みあれば、如何なる書籍にても、これを刊行し、發售すること、營業上當然の行爲にして、其讀者社會に及ぼす影響如何の如きは、必ずしも問ふを要せざるに似たりと雖も、其業務の性質、教育、文化の發達と密接離る可からざる關係を有するに於ては宜しく多少の注意を此間に拂はざるべからず、書肆も亦一箇營利の業たる以上は、收益の有無を計算外に置きて、義務的に書籍を刊行することは、もとより不可能の事に屬するも、少くも一己の營利と、社會の公益とを調和せしむるの徳義心なるべからず、換言すれば社會の思想文化に貢獻すべき範圍内に於て、營業上の利を圖るの公觀念なかるべからず、是れ實に書肆の社會に對する責任なり、義務なり、然るに今日の書肆たるもの概れ這種の徳義心なく、公觀念なく、己れが責任義務の何たるを知らず、苟くも利の在る所は、敢て爲さざるなし、其淫靡鐵巧の書卷一世に流行して、社會を荼毒し、人心を腐敗せしむる、豈に偶然ならんや、吾人微力、敢て自ら書肆の本領を把持し得ると謂はず、然れども平素の期望は、此滔々たる出版界の濁弊を刷新して、文化、思想の發達を裨補する上に在り、聊か所思を宣明して、自ら励め、併せて江湖に告ぐこと爾り。

明治三十五年九月二十六日

裳華房主人謹識

札幌農學校學藝會編纂

札幌農學校

(增補第三版)

菊判 正價金 四拾錢  
假製 全壹册 郵稅 六錢

王政維新の際、蝦夷開拓の廟議を定められ、首として育英の道を講じ、札幌農學校を創置し、農學の蘊奥を究め、邊土開發の端を啓かる、爾來業を卒へ校を出づるもの、五百有餘名、本年五月を以て其創立、二十五年の祝賀會を舉ぐるに至り、校連日に月に盛んなり、本會は吾札幌の地を以て、異日帝國に於ける學問中心の一都府たるべきを信ずると共に、特殊の歴史を以て此地に設立せられたる、札幌農學校の沿革、程度校風等を記して一巻となし、之を尊く江湖に頒ち、一は此地に遊學せんとする、青年諸君の伴侶となし、一は我が校の眞相を世人に紹介せんと欲する微意よりして、曩に本書を刊行せしが、初版再版既に五千部を賣盡くせるを以て、今回更に改版して、其の面目を一變し、二十五年祝賀會の記事を加へて、增補第三版を發刊せることとなせり。

勝、福羽先生題言 芳野兵作君編纂

(增補第十版)

座右之銘

袖珍 正價金 貳拾錢  
美本 全壹册 郵稅 四錢

功業一世を蓋ひ識見千古に抜く英雄豪傑は勿論かりにも一技一藝に名ある者ば必らず其平生の心掛常當の人に異なる所あり本書は即ち近古三百年間に於ける上は、天皇、下は武將大儒高僧より歌人畫師技藝家に至るまでありゆる名人の守り袋とせる百四十餘人の教訓を撰めたる者にて學校の師弟は由りて以て講堂の訓話となす可く爲政家は由りて以て爲政の策となすべく軍隊の兵士は由りて以て武術の心得を學ぶ可く農工商を營む者は由りて以て心の控を學ぶべく朝夕誦讀の際知らず識らず其人と親しみ教を受くるが如き心地すべし嘗て萬朝報にて一字金壹圓百字百圓の賞を懸けて募集せられたる座右銘も亦同社の承諾を得て收めて此中にあり苟も一言一句として精金美玉ならざるはなし製本は極めて美麗にして携帶に便ならしめ學生の賞品贈り物等には最も恰好なる珍本なり……此書は元より非射利的にして道義道德の土壘を聳く天下に布く所以也。







# THE LETTER WRITER.

上製正金價四圓計郵費拾錢○並製正金價六拾郵費拾錢

萬朝報英文批評

Although many books on English correspondence have been lately published, we have never seen any work so complete and carefully compiled as "The Letter Writer" edited by Mr. N. Yamamoto and just offered for sale by the Shōkwabō. It is a selection from "The American Letter Writer" and contains quite a large number of models of familiar and business letters, besides those of commercial forms and an exhaustive treatise on book-keeping. It is well printed on good paper and very beautifully bound. We are sure that those who do correspondence in English will welcome its appearance.

現時英文研究盛に行はるゝも其方法多くは讀書力の涵養に重きを置き實用の方面を等閑に附するか故に充分に英書を解し得る人と雖も日常往復の書簡すら辨じ能はざる者比々皆然なり蓋し簡牘は自ら特殊の形式慣例あるを以てなり嚮に米國デョーヂ、ブラムダー氏の出版せる "The American Letter Writer" なる書あり英文書牘私交用事務用の書式躰裁習慣文例等を網羅して餘す所なく頗る好評を博せりと雖も惜むらくは本邦其書なし即ち殊に本邦學生諸君及び實業家諸君の爲めに該書中緊要なる事項を拔萃し能ふ丈けの廉價を以て江湖に薦めんとす書肆裳華房主人頗る此舉の爲めに勉めて紙質の精良と印刷の鮮明最意を致せり庶幾くば諸君の日常に補益する所尠少なからざるを得む

編纂發行者 山本直良 識  
發賣元 裳華房

# BUSHIDO

日本農學博士  
新渡戸稻造先生  
カウフマシ生譯  
獨文武士道

(訂正第六版)  
特製金壹圓郵稅六錢  
並製五拾錢全六錢

獨逸哲學博士  
米國文學博士  
新渡戸稻造先生  
英文武士道

(增補第六版)  
特製金壹圓郵稅六錢  
並製四拾錢全四錢

飽翁道人評論裳華房評註

武士道評註及論評

全壹册正假三金拾錢△郵稅四錢

武士道、是れ新渡戸博士が著者米國に於て著し名聲甚なりし者今我國華房によりて發刊せられたる者なり、夫れ武士道は我國唯一の特産にして數千年來國民道徳の儀表となり、士人風教の標的となり、今是れに類する者泰西に求めんか上古にありては希臘に於けるストイック學風中世紀に於けるシブアンリ及近世に於けるセントラルマンシップの如き皆或る類似點を有すと雖各々武士道の一角に机有するに過ぎず其方面に眞り完全なる徳道律となるべきも斯の如きは未だも僅かに其一端を窺ふに過ぎず終に克く全態を洞知する者なく甚だしきは之を以て野蠻の遺風に過ぎずとなす者なり、蓋し武士道の由來たる其淵源極めて遠遠なるを以て我國史に精通し兼ねて支那哲學及佛敎のドクマニに到達せる者に非れば是れが真相を知るに足らざるなり、而して是れ極めて歐西人に望むべからざるが故に荷くも其眞義を發輝して國光を海外に揚げんと欲せば必ず一面我國の思想史に通じりて一面歐西の學に達せる邦人の力に俟たざるべからず、新渡戸博士は篤學識一書を讀むの士なり、亦た吾人と感想を向ふしけん頃者「武士道」を著はして吾人か多年の熱望を満足せしむ、吾人は我國名譽の爲めに欣舞に堪へざるなり、博士は先づ倫理系統に於ける武士道を論じて其根本義を闡明し次に武士道の由來を論じて之を佛敎(殊に神學)神道及孔孟の教義に歸し其アットリヒエツとして正義(殊に神學)誠實、名譽、忠君、節制、修練の諸徳を擧げて之を網羅し次に自殺と復仇を論じ武士の魂たる刀刃及び家庭に於ける婦人の地位及び社會に於ける其影響を述べ終に現在及び將來に於ける武士道を説きて論を結ぶ叙述整然論明斯文學も亦た道勁本邦人の英文として優に一位に居るに足る實に近來の名著と稱すべきなり

由來我邦人にして尙且武士道の眞義を知る者少く殊に道義地に委したる今日の社會にありて最も武士道講明の必要を見る而して之を研究せむと欲する者の爲には此書は最も組織的にして最も包容的なるを信す

武士道を讀む 島田三郎君評







故勝海舟翁題字 新渡戸稻造君校閱  
志賀重昂君批評 菅 菊太郎君著

# 日歐交通起源史

菊判 正價金壹圓貳拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾貳錢

日本帝國の地位、勢力、隱然として宇内の重きをなさんとすると同時に、對外の事端目を追ふて繁雜を極め、隨つて外交上の歴史的研究に従ふ者少からず、然れども、從來世に公にせられたる著述は、概ね嘉永安政以降に於ける開國の顛末を叙する者に非ずんば、即ち纔かに徳川幕府の初期に溯りて、鎖國の緣由を説く者のみ、未だ人種、地理、歴史の上より、日歐の關係を論斷して、自他交通の起因を證明確示せるものあらず、之あるは實に本書より始まる、哲學博士、農學博士、新渡戸稻造氏嘗て米國遊學中、こゝに志あり、米獨西葡諸國の史書に就き、苟くも事の日歐交通に關係せるものは博搜して遺す所なく、研鑽年あり、著者就きて、其藏書を閲みし、其議論を聽き、更に和漢の史籍を涉獵し、參するに自家の研究を以てして本書を大成し添ゆるに農學士志賀重昂氏の精細なる評を以てせり、庶くは本邦外交研究史の起源これによりて明確なるを得べし、歴史上の疑問たりし葡人初航の年月事實も是れによりて明了することを得べし、若し夫れ如何に其材料の豊富にして、如何に其論斷の明快なる乎は、讀者自ら之を知らん、必ずしも此に架説するの要なきなり。

徳川慶喜公題字  
栗本鋤雲先生著

榎本武揚君題字 島田三郎君序文  
宮本鴨北君序文 尾崎行雄君序文  
犬養 毅君序文 栗本秀二郎編纂

# 匏菴遺稿

菊判 正價金壹圓五拾錢  
洋裝 全一冊郵稅拾八錢

栗本鋤雲翁は近代の高士なり、門巷蕭條夜色悲。鶴鳴聲在月前枝。誰隣孤帳寒檠下。白髮遺臣讀楚辭の句を誦する時は孰れか其節を高しとし而して其志を悲まざらん翁幕末多難の秋に於て奥醫より出て外政の局に當り兵庫開港延期談判となり横須賀造船所創設となり下ノ關償金談判となり佛國に航し當時日佛兩國の阻隔を調停す等其偉蹟の傳ふ可きもの妙なしとせず歸朝の日政變に遭ひ飄然として江湖に逃れ専ら文筆を以て世に立てり翁か維新の筆述に係る者は多く散佚して傳らず佛國行の公書私乘の如きは海中に投じ魚腹に葬れりと云ふ只だ變平ぎて後窓前燈に隨ひ録し、所の雜著となり漫言となり曾て報知新聞紙上に載られしもの頗る多し前年匏菴十種として活刷されしと雖も十の二三に過ぎず翁逝きて後嗣子秀二郎君遍く其遺録を輯し編して匏菴遺稿として家寶に傳ふ本書は即ち是なり翁が高節なる隨筆に史論に詩文に落葉の感を寓する深しと雖も翁が博覽にして多趣なる本草に物産に關すると多く特に北海の拓殖に涉りては所見妙なしとせず斯て匏菴遺稿は一部幕末の史料なり一部絶好の高士傳なり其世道人心を裨補する大なるを信じ弊房是を栗本家に請ひて發兌す以て公にし世の高需に應ぜんと欲す希くは高評を賜はらんとを



水產學專攻 日本魚類圖譜 全部四拾種行類  
 昆蟲學專攻 日本昆蟲圖譜 全部四拾種行類  
 植物學專攻 日本果實圖譜 全部四拾種行類  
 植物學專攻 果實圖譜 全部四拾種行類

近刊豫告

既刊廣告

伊藤圭介先生合著 植物名實圖考 全八冊 正價金六圓四拾錢  
 小野職愨先生合著 有用植物圖說 全八冊 正價金六圓四拾錢  
 田中芳男先生合著 有用植物圖說 全八冊 正價金六圓四拾錢  
 小野職愨先生合著 有用植物圖說 全八冊 正價金六圓四拾錢  
 川上瀧彌先生著 森林植物圖說 全一冊 正價金壹圓八拾錢  
 農商務省山林局編 有用森林樹木圖 全十種類 正價金四圓五拾錢  
 大日本山林會藏版

既刊廣告

全國農事會幹事農藝化學士織田又太郎先生著 農民之目醒 最新刊 正價金四拾錢  
 農學士青山三次郎先生著 耕地整理通論 近刊 正價金四拾錢  
 石川縣農會高多信久先生著 釀造用大麥論 假製本 正價金五拾錢  
 米國留學農事專攻農學士藤田昌先生著 北海道農論 假製本 正價金四拾錢  
 獨逸留學農政學專攻農學士高岡熊雄先生著 土地經濟論 第二版 正價金四拾錢  
 福岡縣農事試驗場技師農學士角田啓司先生著 畜牧論 假製本 正價金五拾錢  
 札幌農學士小川二郎先生著 家畜改良論 假製本 正價金五拾錢  
 農學士小川二郎先生著 牛乳と衛生論 假製本 正價金五拾錢  
 石橋三郎治先生著 農業講習全書 假製本 正價金四拾錢  
 長野縣立農業學校教頭農學士龜谷恒太先生著 實用柑橘栽培書 近刊 正價金四拾錢  
 兵庫縣川邊郡農會試驗場場長北神實先生著 實用果樹栽培書 第三版 正價金四拾錢  
 農學博士玉利喜造先生著 實用葡萄栽培書 第二版 正價金四拾錢  
 農學博士玉利喜造先生著 實用葡萄栽培書 第二版 正價金四拾錢  
 農學博士玉利喜造先生著 實用葡萄栽培書 第二版 正價金四拾錢  
 農學博士玉利喜造先生著 實用葡萄栽培書 第二版 正價金四拾錢

發行元書肆裳華房



農學博士 佐藤昌介先生校閱  
農學博士 伊藤清藏先生著述

# 農業金融論

(訂正第二版)

菊別 正價金壹圓八拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅十八錢

日本新聞一農業金融論彼の以太利に行はるる穀物銀行の設立以來、今日の土地銀行、人民銀行の稍完全なるに至る迄、我が屯倉義倉制の行はれし以降、勸業、農工、拓殖諸銀行の開始、信用組合法の發布に至る迄、何れの時代と雖も、農業金融問題は、國家に重要な農政問題に非ざらざると無かりき、而かも世人の此問題を論ずる、多くは純正經濟學、或は財政學の點より觀察し、鎖本問題の根本にして、且つ其目的物たる農業及び農民を眼中に置き、農學の側面より之を研究したるものを開かず、深く斯學の爲に惜むべしと爲す、これは著者の自序中に概言せる所、蓋し經濟、財政の理に通ずる者は、其眼重に商工業の上に局して、農業の上に及ばず、農業に専念なる者は、其識概ね開墾耕耘の上に偏して、經濟財政の少なき所ならん。故に近年、産業組合、勸業問題の、久しく、等閑に付せられ、其眞義を研究するもの少なき所ならん。故に近年、産業組合、勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行等の設立ありて、農業金融機關の設備、漸く整ふと雖も、此種の機關を運用して、十分に其効力を農業界に普及せしむるの道、未だ開けず、各府縣に於ける農工銀行に、内訌、破綻、紛々續生して、正經なる實業者の機關たるよりも、寧ろ虛業家の喰物に終らんとするが如き怪現象を呈するものあるは、未だ必ずしも農業者間に經濟的智識の缺乏せる爲ならずんばならず、此缺乏を補ふべきものは、其れ唯農學博士佐藤昌介、農學士伊藤清藏兩氏の農業金融論ならんか。本書は、著者の告白する如く、著者地位を農業界に置き、農學の側面より、農業金融に關する有ゆる問題を研究したるものにして、議論明晰、秩然として序あり、我國に於て、農業金融問題に就き、一部の成書を見たるは、蓋し本書を以て嚆矢とすべく、勸業、農工諸銀行の設立日猶ほ淺く、殆んど試験期に屬しつゝある現時に於ては、極めて必要の著書と謂ふ可し、本書一出して、獨り農政界に新面目を開くのみならず、一般經濟學にも利益を及ぼすと尠少ならざらん。

ドクトル デル、ゴルツ 先生原著  
獨逸留學 高岡熊雄先生譯述

# 農政學

(訂正第二版)

菊判 正價金壹圓八拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾六錢

本書卷首 原作者より寄贈せられたる寫眞版の肖像及び小傳を掲げ

序論 第一章 國家及び社會に對する農業の必要を論ず 第二章 農業經營論 第三章 獨逸農業發達史 第四章 一般農業に關する國家の職業を論ず 第五章 國有地論 第六章 土地の分配論 第七章 耕地整理論 第八章 土地共有地論 第九章 土地負債論 第十章 農地論 第十一章 農業教育論 第十二章 農業團體論 第十三章 農業組合論 第十四章 農業信用論 第十五章 農業と貨幣制度及び取引所の關係を論ず 第十六章 農業保險論 第十七章 農業警察論 第十八章 農業と商業及び交通の關係を論ず 第十九章 農業と關稅及租稅制度との關係を論ず 第二十章 農業と關稅及租稅制度との關係を論ず 結論

本書卷末 佐藤新渡戸松崎博士の校閱を経たる農政學語索引を添ふ



農學博士 新渡戸稻造先生著 (訂正第四版)

# 農業本論

菊判 正價金壹圓五拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾四錢

徳富猪一郎君評 文界寥落の今日に於て、斯の冊子に接したるは、吾人が嚆矢を強ふ所なり。既に「農業」より、交通により、旅行により、總論により、研究により、静思により、涵養により蓄積したる精神を傾け來りたるものにして、其の着想の多角的にして、且つ何となく深奥の氣味、著者によりて、製造せられたりと謂はんよりも、寧ろ著者と與に成長したるものと稱するを適當と爲すに似たり。

竹越與三郎君評 著者歐米に遊んで歴史經濟統計諸科を攻めたりと稱するが、予輩は本書を讀んで、氏の素養の如きは尙見ある學者の著書たるに恥ぢざるものと云ふべき也。

布川孫市君評 世に社會問題を唱ふるものあり。而かも多くは工業の一部に偏して、其言ふ所皮相に過ぎ、唯其流弊あるものなし、本書出て、始めて農民に關する社會問題の全般を窺はしむ、是れ實に農業上の好著たるのみならず、社會學の專門研究者に至るは、地方學研究の要を結晶して止まざる如き其なり、封建時代の制度漸次瓦解し去りて、地方の自然的風習を收めんと欲して、却て前代の習俗に資するの傾向ある際、我學界未だ地方學に從事する者あるを見ず、氏又農民の注すべきを農に偏せざり、ストの説を取りて、最後は市立選舉と云ひ、如今農工商の互に衝突する問題の概出する際、何れもなる政治家の輩、須らく三平均の真理を味はざるべからず、又政客の空論に走り急激の空想裡に入るときは、農業の實際なるを知らしめ、中央集權の腦充血に類せしめ、農民の不利たるに止まらず、延びて國家に害あるを説くの精密なる、農に關する、氏の識の傳せしめ、未だ斯の事項に論及せざるべしと、漸次進讀するや、之れより以上及ぶもの從來甚少ならずと雖も、此書は本邦人の著書として優に第一位にあるものと信ず。

農藝化學士 織田又太郎先生著

# 農民之目醒

菊判 正價金三拾錢  
假製 全一冊郵稅金四錢

本書は先生が多年農界のためにもせられたる農政農業經濟及び實業教育并に道德等に關する所論數十篇を起稿し本邦農界警醒の資に供せんとして發行するものにして議論の卓拔なる文章の流麗なる農界稀に見るものものなり今回先生に乞ふて是れを上梓す苟も斯業界に志あるもの、必ず一讀せざるべからざるものなり其の目次を擧ぐれば

- 本書目次
- 農界の危急
  - 勤儉は人の美德なり
  - 公義と公德と
  - 地主の責務を論じ、併せて土地保護律發布の必要に及ぶ
  - 嗚呼労働なるかな
  - 須く土地の利用を圖るべし
  - 農事調査の本旨を明にす
  - 土地保護會の設立を望む
  - 豊作を申す
  - 農民は奸商の餌食なり
  - 致富の要道
  - 農業經營難
  - 労働は農家收入の一大源泉なり
  - 經濟的模範農地に就いて
  - 致禍を轉じて福となせ
  - 稻田被害地農民救助の一策
  - 中等農業教育に就いて
  - 偶感二則
  - 消費問題を閑却する勿れ
  - 府縣農會の職責如何
  - 貧道十則



理學博士 宮部金吾先生校閱  
農學士 出田新先生著述

(最新發行)

# 日本植物病理學

菊判 正價金貳圓五拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅十八錢

著者鑒に實用植物病理學を著し、次て農作物病理學を公けにせしより、世人の植物病理に注目するもの漸く多く前書は今夏増補再版の盛を見、後書も亦普く各府縣立農學校の教科書に採用せられ、斯學界の面目爲に一變せんとするに至れり、然るに近來植物の病害頻々として所在に發生し、且つ新たに發見研究せられたる病害も亦尠からざるを以て、弊房更に同農學士に本書の起稿を請ひ、幾多の新病害に就き、一々精細詳密なる説明を加へ附するに圖書二百有餘を以てし、日本植物病理學と題して、専ら參考用に資せんとす、蓋し植物病理の學たる、獨英米諸國に於て諸大家の著書なきにあらずと雖も、本邦の病害に關しては、其記する所極めて少し、著者廣く歐米最近の研究を涉獵せしのみならず、宮部博士、白井理學士、堀農學士、理學士、高橋農學士、山田農學士、西田農學士、川上農學士、半澤農學士の諸氏、市川、野村の兩氏を始め、本邦諸學者の最近研究も、亦これを網羅し、病名及び學名の如きは最近の研究により變更したるものを採用せり、卷末には英獨和對照の術語彙集及び索引を加へ、以て斯學の準軌たらしめんことを期したれば、本邦植物病理學を講究せんと欲する者の必須なるは論を俟たざるなり。

林學士 新島善直先生著

(最新發行)

# 日本森林保護學

菊判 正價金壹圓八拾錢  
洋裝 前編郵稅金拾四錢

森林の保護は、直接森林事業に従事する林業家に必要なるのみならず、間接森林事業に關係を有する農業者、漁業者の如きも、亦輕々觀過すべからざる問題にして、其方法を講究すること極めて必要なりとす、然るに何の不幸か、本邦森林保護の學、缺如として見るべきものなく、林業家及び林業に關係を有する者、其利益を損害せらるゝも、之を匡濟する能はず、森林學の部門は、猶ほ一大暗黒を存するも、未だ之を闡明する能はず、是れ豈に本邦實業界を缺陷にして學術界の汚點ならずや、著者夙に之を憂ひ、多年研究の結果今や積んで、日本森林保護學の二卷を成し、先づ其前篇を世に公にすることなれり。

本書は初め人為の害、即ち森林の境界、生産物利用、火災等の損害并に犯罪、林政權に對する保護を細説し、進んで動物の害、即ち哺乳類より鳥類、昆蟲類の害に對する保護を詳説し、附するに精緻なる圖畫を以てし、文字の説き及ばざる所を補へり、蓋し森林の學たる法學、動物學、植物學等の諸學に關係する所極めて廣し、著者熱心に各方面を涉獵して、本邦森林保護學を講究したれば、本書蓋し斯界の木鐸と云ふも過言にあらず、願くは購讀の上、其眞價を判せられんことを。



農學士 松村松年先生著

(增訂第六版)

# 日本昆蟲學

菊判 正價金壹圓七拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾四錢

昆蟲の吾人に益を興へ害を及ぼし又吾人をして快樂を覺えしめ痛苦を感ぜしむる等直接に影響を來すの事項は極めて多く彼の蠶兒の數億萬圓の莫大なる利益を興ふると浮塵子の幾千萬圓の巨額の損害を及ぼす如きは最も著しき一例にて其他の事實を列擧せば一紙片の能く盡し得る所にあらず斯の如く昆蟲が吾人社會に非常なる關係を有せる以上は其發生經過及び形態習性等を研究し益蟲の益ある所以、害蟲の害ある所以を明にし學理的に將來應用的に益蟲を保護増殖する方法を研究し害蟲を驅除豫防するの手段を調査するは最も緊要の事業なるべし然り之が爲に世の志ある人士斯學を探究するの企望を抱くもの尠からずと雖も惜い哉我邦に於て未だ會て昆蟲學に係る良書なきを以て往々初學者をして途方に暮しむるの有様なりしが今回斯學に熱心なる農學士松村松年氏は氏が多年の研究を礎とし博く歐米の名家に質し普く各國の書帙を涉獵し茲に日本昆蟲學なる書を公にせらるる昆蟲學の發達幼稚なる我邦に於て斯る書の著述に従事せらるゝ其辛勞思ふべし此書出でて昆蟲學に志す者をして羅針盤を得たるの心地あらしむ殊に此書載する所の例證は重に本邦産のものを擧げしを以て研究者の便利を得ると尠からず當に昆蟲に對し直接に利害を感じ影響を蒙むる農業者に取りて是に優りたる珍寶あるべからず吾人は雙手を擧げて此書を歓迎すると共に人に對し紹介の勞を執るに躊躇せざるべし。(博物學雜誌)

昆蟲專攻 松村松年先生著

(訂正第五版)

# 日本害蟲篇

菊判 正價金參圓參拾錢  
洋裝 全壹冊小包拾五錢

『日本害蟲篇、札幌農學校助教農學士松村松年氏の著にして本邦に産する重なる害蟲三百餘種の經過、習性及び驅除豫防法を記し一々精圖を挿入し深切に説明せり、松村氏は其兄松村介石氏か天下青年の精神的教養に忠なるが如く、又八百萬農家の仇敵たる害蟲研究に忠なる學士なり願ふに農産物害蟲の多くが微小夜行性なるは已に調査に困難なるに加へて歐米參考書は其の價極めて高く我國にては未だ學術的に調査したるものなし氏が此間に立ち専心一意に幾多の艱苦を経て此の如き完全の日本害蟲篇を得たるは余輩が深く同君に謝する所なり其記事の實際にして精確なると、あらゆる重要害蟲を網羅したるとは農耕業者必備の寶典として缺くべからざるものなり、而して余輩は又本書出版者が本書の圖畫を彫刻せらるゝに方り能く名工を撰み高價の賃金を厭はずして著書の意を完ふし讀者の望に副へたるの厚意忘る可らず著者は「本邦未だ這般の圖畫の彫刻に堪能せざるを以て多少原蟲と相違する所あらん」といふ然り是あらん、而も本邦今日に於て此の如き精圖を供したる者余輩は竊に出版者に同情なき能はず美なるかな二百餘の精圖(246 Illustrations)余輩は松村兄弟の世に忠なるに感ずると同時に本書發行者の又著者に忠なるを感謝す。(早稻田青年農會報批評)



理學士、農學士 藤田經信先生著

(改版增訂三版)

# 顯微鏡用藥劑便覽

袖珍 正價金八拾五錢  
美本 全一冊郵稅金六錢

顯微鏡の力を藉りて諸般の研究を遂ぐるは固之に使用する諸藥劑の効益に據るものとす然るに其藥劑に自ら適否ありて一度使用法を誤るときは貴重の時日を徒費するの憂あり故に後進は其方法に於て多く先輩の遺範に則る但し此遺範なるものは主として歐米各國に出版する斯道の書史に漫散するを以て隨て搜索に困難なるは江湖の齊しく唱和する處なり著者曩に獨逸國 Bahren, Tabellen zum Gebrauch bei Mikroskopischen Arbeiten を得て其動物學に關する藥劑を抄譯し之を動物學雜誌に連載したるに世人の望外なる歡迎を受け會て動物學會に於て小冊子として出版せしに既に第一版第二版絶本を告ぐるに至れり因て今回著者藤田先生同會の承諾を得て更に編纂の區域を擴張して植物學及びバクテリア學に關する者をも記載し Bahren 氏の著書を基礎とし之を補修するに有名なる Lee, The microscopist's vade-mecum 其他 Fol, Kanvier 氏等の著書を以てし尙ほ植物に關しては Zimmermann, Die Botanische mikrotechnik 其他獨逸國顯微鏡雜誌等を摘録して茲に之を弊房に於て改版増訂第三版を出版するの光榮を受くるに至れり卷末には原語及び譯語の索引を加へ以て斯道の準軌たらしめんことを期したれば動物植物學及び理化學並に醫藥學等を講究せんと欲する者の必須なる寶典たるべし。

理學士、農學士 藤田經信先生著

(最新刊行)

# 日本水産動物學

菊判 正價金貳圓三拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾六錢

世人口を開けば輒ち曰く、我國は四面海を環らす水産の利、優に國家の富を成すに足ると、而かも水産業の進歩遅々として、未だ世人の期待する所に應副すると能はざるものは何ぞや、蓋し亦斯業に關する智識幼稚にして、水産動物學の準軌たる可き成書すら是れ無きが爲のみ、藤田先生職を水産講習所に奉じ、水産動物學を専攻する久し、平素研精せられたる學理と實驗とに依據して、本書を著し以て斯學界の缺乏を補ひ、水産に關する智識を弘布せんと欲す、理論の明確、組織の秩序あるは素より論なく、精密なる圖案二百餘個、石版彩色摺の圖書七版等を添へ、卷末に原語及び羅馬語の種名索引を附して説明しあれば、水産學校講習所は勿論、農學校、中學校、師範學校の動物學參考書若くは水産業者の指針として、必須有用の良書なり。

大日本水産會報批評 著者此書の緒言に記して曰く、著者が提唱したる「水産動物」とは狹義に解釋すへきも進運に隨伴せしめんが爲め其淵源たる動物の性行を發揮闡明する所は吾人の祖先が建國の初より憧憬經營したる漁業を新世紀の動物界の一部に偏倚して全般の調和を缺くに至れるは勢の免れざる所云々。之を以て他年完成の基礎となし更に講究の歩を進めんとするの素志あれはなり云々と。吾人は斯學の爲め斯業の爲めに著者の勞を謝せざるを得ず、此書體裁の概略を叙せんに菊版大にして紙質表紙とも甚だ美良にして印刷亦鮮明にして四百三十六頁を以て本文をなし木版圖百八十四個と着色銅版圖七枚を挿入し終りに動物の種名及び和名の索引と引用書目(七十餘種)を掲げ尙添ゆるに白紙十六頁を以てし讀者の記入用に供せり而して本文中魚類に關して記述せられたる紙数は二百四十一頁に達す即ち本書の半を魚類に費したるか如し而して其記述の順序は一般性質に亘りて構造、發生、生殖、分布等を論じ更に各目、科より各屬の性質を述へ各種の形狀、習性及び利用法等を記し且つ實業上重要とせるものに止めたり其行文平易にして而かも其挿入圖に原圖の多きは著者の用意の周到なるを知るに足るべし。



カフアーツ、桑名伊之吉先生著

(最新發行)

# 昆蟲學研究法

菊判 正價金壹圓也  
洋裝 全壹冊郵稅拾貳錢

邦土の一隅に棲息し寸土尺地を所有するものは老幼男女を問はず昆蟲學の智識皆無なりとせば其生存を安固ならしむること能はざるなり昆蟲には益蟲害蟲其種類極めて多く害蟲は家屋にありては人畜を蝕害し田圃にありては作物を喰害し以て直接に間接に災害を及ぼすもの尠なしとせず我國の産物を増進し工業を盛大にするものは一に吾等圍繞する所の農作物と丘陵河畔を掩ふ所の草木とに倚頼せざる可からざるなり此等植物の繁殖枯衰は昆蟲生殖の如何にありとせば斯道の發達は大に國利民福に關係を有するものなり世人動もすれば農作物の豊凶を天候の順否に飯すると雖も細微なる昆蟲被害の爲めに古今饑饉を來せし實例尠なしとせず遠くは天保年間の大飢饉近くは明治三十年の浮塵子の如きは是なり然るに世人昆蟲學は單に害蟲を驅除し益蟲を保護するにあるのみなるが如く信する者の多きは著者の遺憾とする所なり。抑も昆蟲學は學徒の觀察力を養成し徳性の涵養を成し尙ほ他の諸學科と相待て學理的の思想を與へ自然界を理會せしめ以て天然を愛するの心情と優美高尚の品性を喚起し天則に基ける確信の道を開く所以なり。本邦既に斯道に關する書乏しきにあらざると雖も未だ嘗て自然的研究の書あるを見ず是れ著者が本書を著せし所以なり幸に斯道研究の指南車たるを得ば著者の面目何事か之に過さん。

理學博士 宮部 金吾先生校閱  
農學士 出田 新先生著述

(增訂第二版)

# 實用植物病理學

菊判 正價金壹圓七拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾貳錢

本書は學兄出田學士が多年教鞭を執られたる經驗により、本邦に此種の著の乏きを慨して編著せられしものを更に宮部教授の懇篤なる校閱を経しものなれば此書の正確なるは敢て贅言を要せざるべく斯道の教科書として、實業家の伴侶として又隱花植物學の參考書として邦文唯一の好著たることは信する所なり今や農業界の害敵として害蟲の聲高まり其結果は害蟲驅除豫防法の發布を見るに至り或は學者の研究は著書となり論文となり世に發表せられ或は講習會組合等に於て其實行を勉めつゝあるなり然れ共一方の病害は猖獗を逞しつゝありて過月の試験場長會議に於て病害豫防令の一の法令として實行せしめん事を建議せし様なれども猶世人の茲に注意する者少く否病害に對する智識に乏しく其觀念なきを慨しつゝある今日此書の發表せられたる書を繙き總論及通論を一讀せば最も順序正しく最も正確に病害とは果して如何なるものなるかを了解し得べく進んで各論に就て其病性を講究し得は如何に豫防し得らるかを了知するに難からざるべし然れども素と斯道の研究は實に近來に始りたるものにして之を記述するや多くの術語を要し又我國語に翻譯し能はざるもの多く従て原語を其儘に用ひざるべからざるの止を得ざるものありて爲めに初學者の者了解し難からしめたるものあるべく此は學者の講演等によりて滿ざるを得べく諸君の質義は亦著者已に用意しつゝある處なるべしと雖も余輩亦斯道を宮部教授に受くるもの素より鈍才淺學敢て其責に當らずと雖も幸に本書により講究せらるゝ處にして其質義余に寄するあらば共に研究し著者と其勢を分つとを辭せざるべしと敢て世に紹介す。



農學士 河村九淵先生著

(增補再版)

# 應用肥料學

菊判 正價金七拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾錢

熊本縣立熊本農業學校の肥料小舎試験圖及び試驗田の圖挿入

本書は農理と農術とに精通せる熊本縣立熊本農業學校長兼熊本縣技師河村九淵先生が多年研鑽の結果を著述せられたる者にして其特色とする所は行文平易流暢にして頗る解し易きこと趣味津津たる事實と詠歌とを挿入せるを以て記憶に便なると肥料學の原理を農作物に應用し得て遺憾なきこと等にして殊に著者獨得の長技なる理化學實驗に據りて總論に於て施肥の原理を説明する方法と各論には各種作物の施肥量を區別し第一動物肥料類、第二植物肥料類、第三礦物肥料類、第四雜肥料類第五間接肥料類の説明をなせり、餘論として肥料試驗法、肥料成分及び眞價表、附録として第一穀類、第二特用作物類、第三蔬菜類の施肥量を説けり並に肥料に關する諸規則等を掲載したるを以て農業に志あるものは勿論當業者の指針として他に比類なき近來の好著述たり若し夫れ農業生産費を減じ少費多獲の實を擧げ以て我國の農民を其究境に救ふの秘訣を得んと欲する者は須らく本書を繙くべし。

農學士 鏡 保之助先生校閱  
農學士 草場榮喜先生著述

(最新刊)

# 實用土壤學

菊判 正價金八拾錢  
洋裝 全一冊郵稅金拾錢

附録 日本群島地質圖大判着色地圖挿入

總論 第一節本邦氣候の概要○第二節作物の生涯と其組成(二項) 第一章土壤の起源 第一節岩石と礦物○第二節土壤の生成(四項) 第二章土

壤の化學的性質 第一節土壤の成分(二項)第二節土壤中成分の變化(二項)第三節土壤中の窒素化合物○第四節土壤の吸肥力(二項)第五節土水、漏泄水の成分 第三章土

壤の理學的性質 第一節土壤の水(九項)第二節土壤の濕熱(三項)第三節土壤の氣體(二項) 第四章土壤の類別 第一節土壤の成因(四項)第二節土壤の生成と性質に因る類別(三項) 第五章土壤と作物及び肥料の適應 第一節土壤と作物の適應(三項)第二節土壤と肥料の適應(二項)第三節實地鑑定法○第二節土壤の資料に就 第七

章土壤肥瘠の原因、第八章土壤の評價 第一節實地鑑定法○第二節土壤の資料に就 第七

章土壤肥瘠の原因、第八章土壤の評價 第一節實地鑑定法○第二節土壤の資料に就 第七

## 本書目次概略



農學士 明峯正夫先生著

(最新刊)

# 農業種子學

菊判 正價金壹圓也  
洋裝 全壹册郵稅拾貳錢

## 本 書 目 次 概 略

○第一、種子學の本領○第二、種子とは何ぞ○第三、果實の概説○第四、種子の構造一  
 班○第五、種子發芽の状態○第六、種子の發芽と溫度との關係○第七、種子の發芽と水  
 濕との關係○第八、種子の發芽と酸素との關係○第九、種子の發芽と光線及電氣との關  
 係○第十、化學的溶液の種子の發芽に及ぼす影響○第十一、種子の貯藏物質○第十二、種  
 子發芽の際其貯藏物質の受くる變化○第十三、種子は其品種の特性を固持するを要す○  
 第十四、種子は夾雜物を含むことなきを要す○第十五、種子の發芽歩合及發芽勢○第十  
 六、種子の大小及其生産との關係○第十七、種子の重量及其生産との關係○第十八、種  
 子の比重及其生産との關係○第十九、種子の熟度及其生産との關係○第二十、種子の新  
 舊及其生産との關係○第二十一、種子の組織物質の状態○第二十二、種子の外觀的標徴  
 ○第二十三、種子の器械的撰別法○第二十四、種子の母本に着生せる位置○第二十五、  
 種子の貯藏上注意すべき要件○第二十六、種子に雌雄の別ありや○第二十七、種子變換  
 の利益ある所以○第二十八、繁殖用として種子の價値○第二十九、種子取締法制定の必  
 要

農學士、理學士 堀正太郎先生著

(第五版)

# 農作物生理學

菊判 正價金八拾錢  
洋裝 全壹册郵稅金八錢

本書は、農事試験場技師農學士堀正太郎先生が、奥國の碩學ヨセフ、ポールの原著を翻譯せるものにして、農作物生理の微  
 を開き、玄を飾りて最精確詳明を極むるのみならず、引證説明、悉く本邦固有の事物を以てし、最も精密懇到に原著の精神を  
 演繹消化せしが故に、名は補譯と云ふと雖も實に一部の新著と稱すべく、著者が當時農事試験場見習生及東京農學校の教授に  
 主として本書を用ひしに徴するも、如何に其實験應用に適切なるかを知らるべし、一たび本書を讀めば、農事試験場に入り  
 て巧妙なる講演を聴くが如く、農作物生理の要を知るに於て、自ら餘師あらん、各府縣立農學校の教科書に採用せられしは勿  
 論、農事試験場、農會組合に論なく、苟くも農業に關係ある人々は、必らず一本を座右に備へられよ、

農學士、病理專攻 出田新先生著

(第二版)

# 農作物病理學

菊判 正價金八拾錢  
洋裝 全壹册郵稅金八錢

遂きに實用植物病理學を出版して現今農學界の缺乏を補はんと試みしに頗る社會の歡迎を受け亦以て本書が如何に新學界に貢  
 獻せしかを知るに足らん然れども該書は初學者に取りては稍高尙に過るの憾なき能はざるを以て今回更に同農學士に本書の著  
 述を乞ひ病害排列の順序を變更して作物の種類を基とし且つ新に菌類一斑の章を加へ以て専ら地方農學校の教科用書又は中學  
 校の隣花植物學の參考書及び植物學の素養に乏しき者の爲めに周到なる説明を下せり今や恐るべき馬鈴薯疫新に侵入し來り農  
 作物研究の急務を加はるに際し本書を出版せり是れ實地農業に従事するの士に對しては須臾も缺く可らざる無比の伴侶たるを  
 信す



氣象專攻 中川源三郎先生著

(增補第三版)

# 農業氣象學

菊判 正價金壹圓貳拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾貳錢

著者職を中央氣象臺に奉じ氣象學上尤も熱心家を以て稱せらるる今回札幌農學校學藝會の委囑に依り此著を公にす原來氣象と農學との關係は尤も密接なるに係はらず農業家の如きは漫に舊慣を固守して農業經濟上非常の不利なるもの少からず又農學士と稱する農業上には新智識を有する人々だに猶氣象學に關しては知る處少なく學ぶ處淺きが如くなるは常に吾人の憂ふる處にして我邦農界の遺憾とする處たり中川氏の此著ある又偶然に非ざるを知らん學說の如きも勉めて東西を參酌して實際を旨とし空理を避け苦心尋常ならざるを認識す文章又流暢一々圖解を附す實に農界の一大寶典たらん

(訂正第二版)

# 天氣豫報論

菊判 正價金壹圓五拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾四錢

農業氣象學を著して其名を傳せし中川氏が今又天氣豫報論を出だせり著者多年中央氣象臺にありて經驗したる所と學理とに基きて編著せられ初めに天氣の要素、天氣の狀態を述べ次に本論の各章を各節に分ちて詳論し又附録として氣象通報規程及び其手續並氣象符號を添へたるは總體に注意周到なり農工商航海水産林業に従事する志士の如き直接天候の爲に利害を蒙るは勿論天候の變化を巨細に考究するの必要あると共に之を實地應用に活用するの方途を講せば裨益する所極めて大ならん

農學士 大脇正諄先生著

(訂正第三版)

# 最近米穀論

菊判 正價金壹圓三拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾四錢

我國の米作國として開けること久し瑞穂洲の名は古史に見へ列聖の宏願も亦農を以て立國の基本と爲し米作を獎勵せられたるの跡歴々徴す可し列國競争の今日となりては國家の富強進歩固より農事の一途に依頼す可からずして商工業の發達寧ろ念なるものありと雖も數千年來國本を培養せる農事の改良亦決して怠る可からざるなり而して農事改良の主眼は實に米作改良にあり然るに從來農學家の米作を講究する唯慣習的實驗を依據とするのみにして學說上より其根本理を明かにせるものなきが故に浮從據なきの患あり本書は農學士大脇正諄氏の著にして條を分つこと十二、四百餘頁の大冊子にして米穀の過去現在將來に亘り其用途特性種子栽培病蟲害等に至るまで凡そ米穀に關する事項は詳細遺す所なし斯業に志あるもの宜しく一讀して實驗研究の基本となすべし。

(東京根岸に於て 農學士 菅 羽太郎著)

農學士 須田金之助先生 闕  
養蠶專攻 田村兼藏先生 著

(最新發行)

# 最近養蠶論

菊判 正價金壹圓五拾錢  
洋裝 全壹冊郵稅拾四錢

之を既往に徴して現在に鑑みれば本邦蠶業の發達は眞に驚くべき者の如しと雖も養蠶家の現状を觀察すれば收蠶の量を増せるは規模の擴張せるに由來し飼育の技術は經驗を襲するに過ぎずして今尙舊慣を脱せず迂遠の方法を守株する者尠しとなさず若し夫れ筆頭一步を加へ之に日進の科學を應用し其弊の存する所を矯正し其利の缺くる所を修補せば國利の増殖豈に今日に倍益する如きに止まらんや秋田縣農業學校教諭田村氏遺留本書を著し専ら斯業教育の普及に資せんとす其學や既に美なり加ふるに須田農學士の精確なる校閱を勞せり其精や知るべきのみ本書の初學者の階梯となり當業者の餘師たるに適すべきは深く信じて疑はざる所なり。

(東京養蠶講習所に於て 農學士 本田岩次郎著)



### 圖書御注文に關する注意

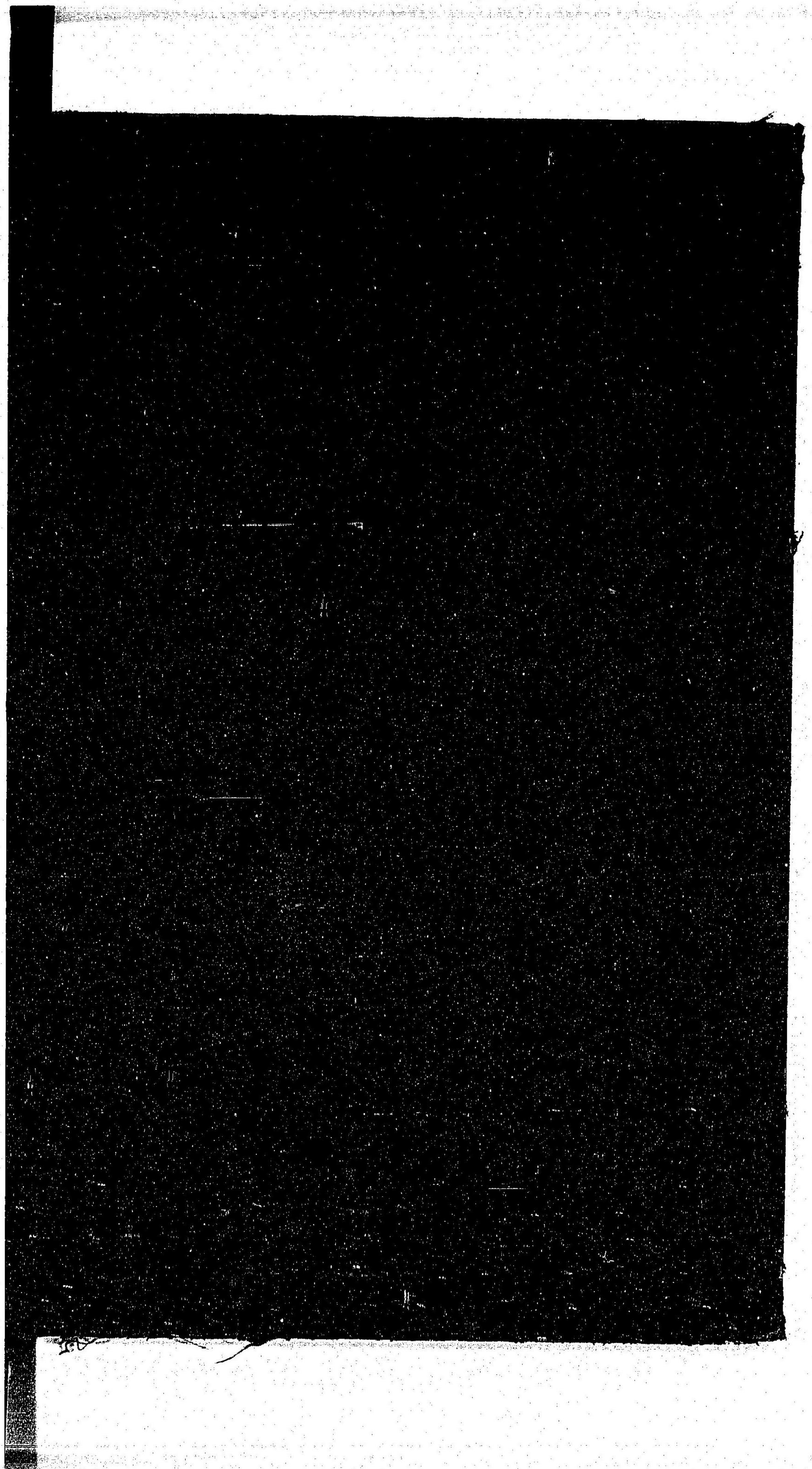
- (一) 弊房は出版專賣に従事仕候得共御便宜を以て他店出版の圖書も取扱可申候但責任ある著書に非ざれば一切取扱不申候御注文の節は總て前金に願上候御送金なくして御注文あるも一切送本不仕候
- (二) 代價は郵便爲換又は銀行爲換其他便宜に任せ御送附あるへし其他の都合により郵便切手を以て金圓に換用せらるゝも不苦若し切手に換用せられ候節は通常代價の割増を以て願上候(切手御送付の際他の紙を其切手の裏面に當て務めて密着せざる様御注意を乞ふ)郵便爲換は東京日本橋本局にて受取べき様御取組可被下候
- (三) 御注文の節は其地名番地御姓名等明瞭に御認め被下度荷物差出所繼立所等は御指圖に従ひ可申候別に御申越無之分は弊房に於て海陸共に可成廉價を以て早達仕様取計可申候且荷造は精々堅固に注意仕候得共萬一運搬中破損或は火災難難雖其他天災にて損害相生し候共積問屋又は飛脚屋より弊費致候外弊房にては一切負擔不仕此段前以て御承知奉願候
- (四) 運賃は書籍代價の外に申受候間相當の見積を以て書籍代價と共に御送附被下度候尤も郵便を以て遞送を御望の節は書名の下に記載したる郵便税を以て御送金あるべし右は郵便規則により月方廿五に付二錢の割合を以て見積有之候故右様御了承被下度且つ郵便普通遞送は紛失の憂も難計候間別に書留料として七錢を加へ被下度左なくば普通郵便と見做し差出可申候就ては萬々一紛失致候共弊房に於て其損害は負擔不仕候
- (五) 代金を郵便小爲換にて御送附の節其證書面の拂渡郵便局名及び受取人氏名を記載可き部分を空紙にて御送附に相成りては如何様の間違相生し候哉も難計に付該證書面の拂渡郵便局名の左側に(東京日本橋區大傳馬鹽町十一番地發祥房)と必ず御記入の上御送附被下度若し御記入無之候ては如何なる間違相生し候とも弊房に於ては其實に任せず此段豫め御承知被下度候

東京市日本橋區大傳馬鹽町十一番地發祥房  
電話二花三五百三十三番

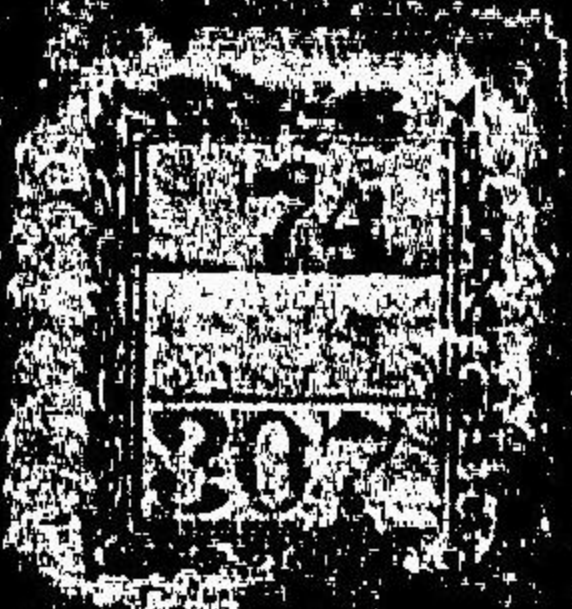


711  
304









057462-000-1

74-307

昆虫学研究法

桑名 伊之吉/著

M36

CAR-0035

